

令和5年度
朝霞‘‘未来・夢’’子ども議会
会 議 録

令和5年10月21日（土） 開会

令和5年10月21日（土） 閉会

朝 霞 市

朝霞市教育委員会

朝霞 ‘未来・夢’ 子ども議会





富岡勝則市長



獅子倉千代子市議会議長



二見隆久教育長



一般質問の様子①



一般質問の様子②



一般質問の様子③



一般質問の様子④



一般質問の様子⑤



一般質問の様子⑥



昼食時の様子



「子ども・“未来・夢”宣言」打ち合わせ（全員協議会室）



「子ども“未来・夢”宣言」



令和5年度「朝霞“未来・夢”子ども議会」会議録 目次

議事日程	1
出席議員	1
説明のため出席した人	2
朝霞市議会から出席した人	2
本会議等に参加した事務局職員	2
開会及び開議の宣告	3
会期の決定について	3
市長あいさつ	3
市議会議長あいさつ	4
執行部等の紹介	5
一般質問	6
小学生の部 議事進行【 滝瀬佳音議長 西谷実結奈副議長 】	
ヴォン・ハー・ガン 議員	6
菊池希空 議員	7
藤田茅乃 議員	8
住田航雅 議員	9
阿部莉々子 議員	10
山崎愛夏 議員	12
簾藤彩空 議員	13
武田結心 議員	14
高野紗衣 議員	16
渡邊ふみ 議員	17
村田花乃音 議員	18
増田和翔 議員	20
保崎海音 議員	21
山岸千真 議員	22
井上栞汰 議員	23

小 磯 瑞 己 議員	2 5
原 田 理 央 議員	2 6
戸 川 このみ 議員	2 7
中学生の部 議事進行【 藤 原 愛 美 議長 加 藤 裕 貴 副議長 】	
三 嶋 優 奈 議員	2 9
石 亀 心 美 議員	3 0
齊 藤 優 衣 議員	3 2
岡 田 寧 音 議員	3 3
北 川 颯 太 議員	3 4
新 藤 璃 乃 議員	3 6
藤 岡 唯 奈 議員	3 7
高 橋 豊 議員	3 8
子ども “未来・夢” 宣言	4 0
閉会の宣告	4 1

参考資料

子ども “未来・夢” 宣言	4 4
質問通告事項一覧表	4 5

令和5年度「朝霞“未来・夢”子ども議会」

議事日程

令和5年10月21日（土曜日）午前10時開会

- 開会及び開議の宣告 子ども（小学生）議長
- 第1 会期の決定について
- 第2 市長あいさつ
市議会議長あいさつ
- 第3 執行部等の紹介 市長公室長
- 第4 一般質問 子ども議員
- 第5 子ども“未来・夢”宣言 子ども（小学生）正副議長
子ども（中学生）副議長
- 閉会の宣告 子ども（中学生）議長

* 議事進行 前半：小学生正副議長 後半：中学生正副議長

* 閉会后 記念撮影

出席議員（30名）

朝霞第一小学校	6年	ヴォン・ハー・ガン	議員	6年	菊池希空	議員
朝霞第二小学校	6年	藤田茅乃	議員	6年	住田航雅	議員
朝霞第三小学校	6年	阿部莉々子	議員	6年	山崎愛夏	議員
朝霞第四小学校	6年	簾藤彩空	議員	6年	武田結心	議員
朝霞第五小学校	6年	高野紗衣	議員	6年	滝瀬佳音	議員
朝霞第六小学校	6年	西谷実結奈	議員	6年	渡邊ふみ	議員
朝霞第七小学校	6年	村田花乃音	議員	6年	増田和翔	議員
朝霞第八小学校	6年	保崎海音	議員	6年	山岸千真	議員
朝霞第九小学校	6年	井上栞汰	議員	6年	小磯瑞己	議員
朝霞第十小学校	6年	原田理央	議員	6年	戸川このみ	議員
朝霞第一中学校	3年	加藤裕貴	議員	3年	石亀心美	議員
朝霞第二中学校	2年	齊藤優衣	議員	2年	岡田寧音	議員
朝霞第三中学校	3年	北川颯太	議員	3年	新藤璃乃	議員
朝霞第四中学校	3年	三嶋優奈	議員	3年	藤岡唯奈	議員
朝霞第五中学校	3年	高橋豊	議員	3年	藤原愛美	議員

説明のため出席した人

富岡勝則	市長	神田直人	副市長
二見隆久	教育長		
稲葉竜哉	市長公室長	毛利敏郎	危機管理監
須田祥子	総務部長	清水豊	市民環境部長
佐藤元樹	福祉部長	麦田伸之	こども・健康部長
山崎明日香	都市建設部長	宇野康幸	審議監
紺清公介	会計管理者	益田智美	上下水道部長
野口邦彦	学校教育部長	神頭勇	生涯学習部長
堤田俊雄	選挙管理委員会事務局長・監査委員事務局長		

朝霞市議会から出席した人

獅子倉千代子	議長	福川鷹子	副議長
--------	----	------	-----

本会議等に参加した事務局職員

・議会事務局

太田敦子	事務局長	田畑善伸	事務局次長兼議会総務課長
松原陽子	議会総務課課長補佐	柴沼勇太	議会総務課議事係主任

・政策企画課

染野翔太 政策企画係主事

・シティ・プロモーション課

秋山哲也 広報係長

・市政情報課

奥山雄三郎	市長公室次長兼課長	大井田和恵	課長補佐
小曾根由香	市政情報係主任	石井正大	広聴統計係長
手嶋貴一	広聴統計係主任	佐藤あゆみ	広聴統計係主事

・こども未来課

永山百合子 こども未来係長

・教育指導課

松本欣巳	課長	太田禎治	主幹兼課長補佐
三宅太陽	指導主事		

◎開会及び開議の宣告

○**滝瀬佳音議長** 皆さん、おはようございます。

ただいまから、「朝霞“未来・夢”子ども議会」を開会し、直ちに本日の会議を開きます。
(午前10時)

○**滝瀬佳音議長** 本日の子ども議会、小学生の部の議長を務めさせていただきます、朝霞第五小学校6年の滝瀬佳音と、

○**西谷実結奈副議長** 副議長を務めさせていただきます、朝霞第六小学校6年の西谷実結奈です。

○**滝瀬佳音議長・西谷実結奈副議長** よろしく申し上げます。

○**滝瀬佳音議長** なお、本日の日程は、お手元に配付した議事日程のとおりです。

◎会期の決定について

○**滝瀬佳音議長** 初めに、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

「朝霞“未来・夢”子ども議会」の会期は、本日1日としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**滝瀬佳音議長** ご異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日と決定しました。

◎市長あいさつ

○**滝瀬佳音議長** 続きまして、市長から挨拶のため、発言の申出がありましたので、許可します。富岡市長、お願いします。

[富岡勝則市長登壇]

○**富岡勝則市長** 子ども議会の議員の皆さん、おはようございます。

本日は、市内の各小・中学校から代表として選ばれました子ども議員の皆さんにご参加をいただきまして、皆さんの市に対する思いや考えについてご質問をいただき令和5年度の子どもの議会を開催させていただきます。

さて、皆さんは今年の4月に「こども家庭庁」が誕生したことをご存じでしょうか。これは、子供が中心の社会を実現するため、子供の視点に立って意見を聴き、子供にとって一番の利益を考えていく国の機関です。

その取組の一つとして、「こどもまんなか応援サポーター」の活動が始まっていて、私を始めとする朝霞市や、朝霞市キャラクターのぼぼたんもこの活動に参加するため、10

月16日に「こどもまんなか応援サポーター宣言」をいたしました。

今後も、宣言の目的であります全ての子どもが幸せを感じることができる社会を実現していくためには、皆さんの意見はとても大切でございますので、私も楽しみに、そして大いに期待をしております。

子ども議員の皆さんは、こちらの議場という慣れない場所で、また、普段とは違う雰囲気もあり、とても緊張しているかと思います。

ただ、このように各学校の代表として市に質問できる機会というのは、なかなかありませんので、楽しみながら思いを込めて質問をしていただきたいと思います。

私も皆さんからの質問に対して、市の考えを誠心誠意伝えさせていただきながら、皆さんと一緒に良い朝霞市を作っていきたいと考えております。

そして本日は、多くの保護者の皆様や学校の先生方にもお越しいただいております。子ども議会を開催するためお力添えをいただきましたこと、この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。どうぞ子ども議会が終了するまで、子ども議員を温かく見守っていただきたいと思います。

結びに、本日の「朝霞“未来・夢”子ども議会」が実り多きものとなるよう、期待を申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

◎市議会議長あいさつ

- 滝瀬佳音議長** 次に、朝霞市議会の議長から、挨拶のため発言の申出がありましたので、許可します。獅子倉議長、お願いします。

〔獅子倉千代子市議会議長登壇〕

- 獅子倉千代子市議会議長** 皆さん、おはようございます。ただいまご紹介をいただきました、朝霞市議会議長の獅子倉千代子でございます。子ども議会の開催に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

皆さんには、学校での勉強やクラブ活動などでとても忙しい中、子ども議会議員としてご出席をいただき、誠にありがとうございます。

ご存知かと思いますが、議会では、住民の皆さんの選挙で選ばれた富岡市長、そして、住民の代表として私を含めた市議会議員が、市民の願いを受け止め、課題や問題点を話し合い、実施の方向を決定しています。

ちなみに今年の12月には、4年に一度の市議会議員の選挙があります。

皆さんは、今日一日、子ども議会の議員として、議会での議員の活動を体験していただくこととなりますが、本日は、市の仕事に対する一般質問を行っていただきます。

皆さんから頂いた質問を拝見させていただきましたが、どれも朝霞市のことを真剣に考えてくださっている立派な内容の質問ばかりで、とても感心いたしました。この後、元気に発言していただきたいと思います。

本日の子ども議会が、皆さんにとって、そして、朝霞市の将来にとって実りある時間になることを願って、挨拶とさせていただきます。

皆さん、どうぞがんばってください。よろしくお願いいたします。

◎執行部等の紹介

- 滝瀬佳音議長** ここで、本日出席の執行部職員の紹介を、市長公室長にお願いします。
- 稲葉竜哉市長公室長** 皆さん、おはようございます。ただいまご紹介をいただきました、市長公室長の稲葉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
それでは、これから出席者の紹介をさせていただきます。
まず、先ほどごあいさつをいただきました、朝霞市の最高責任者でございます、富岡勝則市長でございます。
- 富岡勝則市長** どうぞよろしくお願いいたします。
- 稲葉竜哉市長公室長** 続きまして、市長の隣になりますが、神田直人副市長です。
- 神田直人副市長** どうぞよろしくお願いいたします。
- 稲葉竜哉市長公室長** 次に、皆さんから見て右側になりますが、皆さんと関係の深い学校のこと、また、生涯学習など教育行政に関する事務の責任者でございます、二見隆久教育長です。
- 二見隆久教育長** おはようございます。がんばってください。
- 稲葉竜哉市長公室長** 次に、市長又は議会などの事務を補助するために、市の組織として設けられている部や事務局を代表している職員を紹介いたします。
皆さんから見て左側になります、市の税金などを担当している総務部の須田部長です。
- 須田祥子総務部長** よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長** 次に、高齢の方や体の不自由な方の福祉を担当している福祉部の佐藤部長です。
- 佐藤元樹福祉部長** どうぞよろしくお願いいたします。
- 稲葉竜哉市長公室長** 次に、市の環境問題やごみ処理などを担当している市民環境部の清水部長です。
- 清水豊市民環境部長** よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長** 次に、道路や公園の整備を担当している都市建設部の山崎部長です。
- 山崎明日香都市建設部長** どうぞよろしくお願いいたします。
- 稲葉竜哉市長公室長** 次に、まちづくりを担当している都市建設部の宇野審議監です。
- 宇野康幸審議監** よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長** 次に、児童館や予防接種などを担当している、こども・健康部の麦田部長です。
- 麦田伸之こども・健康部長** よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長** 続きまして、今度は皆さんから見て右側になりますが、市のお金を管理している紺清会計管理者です。
- 紺清公介会計管理者** よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長** 次に、台風などの災害対応のときの指揮を執る、毛利危機管理監で

す。

- 毛利敏郎危機管理監 よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長 次に、皆さんと関わりの深い小中学校を担当している、学校教育部の野口部長です。
- 野口邦彦学校教育部長 よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長 次に、選挙を担当している選挙管理委員会事務局と監査委員事務局の堤田事務局長です。
- 堤田俊雄監査委員事務局長 よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長 次に、生活で必要な水道を担当している上下水道部の益田部長です。
- 益田智美上下水道部長 よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長 次に、図書館や公民館を担当している生涯学習部の神頭部長です。
- 神頭勇生涯学習部長 よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長 続きまして、皆さんから見て中央になります、議会事務局の太田事務局長です。
- 太田敦子議会事務局長 よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長 また、本日は、朝霞市議会を代表して議長及び副議長にご出席をいただいております。
まず、先ほど、ごあいさつをいただきました獅子倉千代子議長です。
- 獅子倉千代子市議会議長 よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長 続きまして、議長の隣になりますが、福川鷹子副議長です。
- 福川鷹子市議会副議長 今日一日、よろしく申し上げます。
- 稲葉竜哉市長公室長 以上で、出席者の紹介を終わらせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎一般質問

- 滝瀬佳音議長 それでは、これより一般質問を行います。質問は、通告書に記載してある順に行います。
質問をする議員は、登壇して、はっきりと皆さんに聴こえるように元気よくお願いします。また、答弁も明確にお願いします。

◇ヴォン・ハー・ガン 議員

- 滝瀬佳音議長 それでは、1番、朝霞第一小学校のヴォン・ハー・ガン議員、登壇して質問をお願いします。
〔ヴォン・ハー・ガン議員登壇〕
- ヴォン・ハー・ガン議員 工夫のあるごみ箱の設置でごみのない町へ。朝霞第一小学校、ヴォン・ハー・ガン。
近年、朝霞の街にごみが増えています。

朝霞市でも、ポイ捨てのないきれいな街にできるような対策をお願いしたいと思います。提案のきっかけは、登下校中にカンやペットボトルのごみを見かけるようになったからです。そこで、理由を考えてみたところ、ごみ箱が減ったことが原因ではないかと考えました。

私は、もっと自動販売機の近くにごみ箱を設置した方がいいと思います。ですが、ごみ箱を増やすだけでは、ごみを捨ててくれない人もいます。そこで、ごみ箱の近くにペンを置いて、飲み終わったペットボトルにそのペンを使って自分の悩みを書いて捨てるシステムにしたら良いと思います。なぜなら、そのペットボトルを捨てることで、自分の悩みから解放することができて、みんな捨てたくなると思ったからです。

このように、生活を楽しくする工夫をすることが大切だと思います。

この提案が朝霞市でも実現できるように、ご検討をよろしくお願いします。

○**滝瀬佳音議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** それでは、ポイ捨てのないきれいな街にできるようなごみ箱を設置してほしいというご質問について、お答えをいたします。

市では、ポイ捨ての防止に関する条例を定めております。空き缶やペットボトルなどのポイ捨てを禁止するとともに、環境美化パトロールやキャンペーンなどを行うことで、きれいな環境作りを進めておりますが、いまだにポイ捨てはなくならないという状況があるというふうに認識しております。

ヴォン議員からご提案をいただきました、ごみ箱を増やすことですが、市では自分のごみを持ち帰ることで、きれいな環境が保たれ、ごみを放置できないようにしていくことが大切であるという考えから、多くの人が集まる場所に、ごみ箱の設置はしていません。

しかしながら、ヴォン議員ご提案の自分の悩みや心配事などを書いて捨てるシステムというのは、人々に自発的な行動を起こしてもらうためには、どのような工夫が必要なのかというアイデアであって、非常に興味深く、感心をいたしました。

是非、市役所の仕事の中で参考にさせていただきたいと思います。

ヴォン議員には、これからもきれいで住みよいまちづくりのために、人々が行動を起こすきっかけとなるような、このような提案を今後もお願いしたいと思います。

ありがとうございました。

○**滝瀬佳音議長** 以上で、朝霞第一小学校のヴォン・ハー・ガン議員の一般質問を終わります。

◇菊池 希空 議員

○**滝瀬佳音議長** 次は、2番、朝霞第一小学校の菊池希空議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔菊池希空議員登壇〕

○**菊池希空議員** 「朝霞を知ろう 歴史スタンプラリー」。朝霞第一小学校、菊池希空。

朝霞市に住んでいる人たちに、朝霞市のことをもっと知ってもらえるような取組を提案したいと思います。

僕の提案は、スタンプラリーを開催するという事です。

6年生の社会科で、歴史の学習が始まりました。古墳の学習をしたときに、柗塚古墳のことを知りました。朝霞市に住んでいるのに知らないことがあることに気付き、朝霞市についての歴史や、市内の名所についてもっと知りたくなりました。僕と同じように、朝霞市に住んでいても朝霞市について知らない人が意外と多いのではないのでしょうか。

朝霞市には、柗塚古墳や旧高橋家住宅、塩味醤油醸造など歴史的なものが多くあります。そこで、まずは市内在住の人を対象に、名所を巡るスタンプラリーなどのイベントを企画して、朝霞市について知ることのできる取組をしたらどうでしょうか。ウォークラリーとして開催日を決めて行うことができると、参加した人たちとも触れ合いが持て、住んでいる朝霞市という街にさらに親しみを持てると思います。

是非、ご検討よろしくお願ひします。

○**滝瀬佳音議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。教育長。

○**二見隆久教育長** 「朝霞を知ろう 歴史スタンプラリー」の開催について、お答えします。朝霞市では、この街にお住まいの方を始め、たくさんの方に朝霞の歴史を身近に知っていただくために博物館があり、そこで多くの歴史的な資料を収集・保存し、展示をしています。

また、市内には国の重要文化財の旧高橋家住宅や埼玉県指定史跡の柗塚古墳などがあり、市内の文化財を紹介するために、「あさかみどころマップ」という地図を作って、春夏秋冬の文化財や名所の見どころをモデルコースで紹介しています。

菊池議員からご提案いただきました、朝霞市にお住まいの方に市内の文化財や名所を紹介するスタンプラリーやウォークラリーについて、この地図を基に考えてみたいと思います。

菊池議員のように、朝霞市の歴史や市内の名所を知ることによって、朝霞市のことをもっと知りたい、そして多くの人に知ってほしい、親しみを持ってもらいたいと思って下さったことに、大変うれしく、すばらしいなというふうに思います。

どうかこれからも、朝霞市の大切な歴史や文化財を守り、また、次の世代につなげていけるように、ご協力をお願いいたします。

○**滝瀬佳音議長** 以上で、朝霞第一小学校の菊池希空議員の一般質問を終わります。

◇**藤田 茅乃 議員**

○**滝瀬佳音議長** 次は、3番、朝霞第二小学校の藤田茅乃議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔藤田茅乃議員登壇〕

○**藤田茅乃議員** ガードレールの設置について。朝霞第二小学校、藤田茅乃。

私が普段学校へ通う通学路には、ガードレールがある場所とない場所があります。ガー

ドレールがない場所には、車との距離が近くなってしまうところもあるため、安全面を考慮して、通学路の危険な場所にガードレールの積極的な設置をお願いしたいと考えています。

ガードレールは、主に車から歩行者を守るために設置されています。でも、私は歩行者が歩道からはみ出さないための工夫だとも考えています。なぜなら、ガードレールがある場所には、ない場所に比べて歩道からはみ出しが少ないように思えるからです。登下校時、児童が歩道からはみ出しているという光景をよく見掛けます。それだと、車との距離が近くなってしまうので、それを防ぐためにも、通学路のガードレールの設置をご検討よろしくをお願いします。

○**滝瀬佳音議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** ガードレールの設置について、お答えいたします。

藤田議員が、交通事故防止のため、ガードレールの役割について深く観察・分析していることは、大変すばらしいことだと思います。

市では、皆さんが安心して登下校できるよう、朝霞警察署、学校、PTAなど、多くの皆さんと連携・協力をして、通学路の安全対策に取り組ませていただいております。

藤田議員ご提案のガードレールの設置については、道路の幅や形状、交通の状況に応じて設置していますので、具体的な場所について教えていただければ、設置できるかどうか検討したいというふうに思います。

市としましても、通学路の危険な場所にガードレールを設置できれば、歩行者の安全性は大きく向上すると考えていますので、これからも一緒に考えていければと思います。

また、交通事故を防止していくためには、全ての市民が交通事故の危険性を認識して、日頃から交通ルールやマナーを守って行動することが大切なことだと思います。

藤田議員は、6年生で通学班の中でも下級生を守る立場にあると思いますので、これからも皆さんのお手本となるよう、交通ルールやマナーを守って登下校していただきたいと思います。

○**滝瀬佳音議長** 以上で、朝霞第二小学校の藤田茅乃議員の一般質問を終わります。

◇住田 航雅 議員

○**滝瀬佳音議長** 次は、4番、朝霞第二小学校の住田航雅議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔住田航雅議員登壇〕

○**住田航雅議員** リサイクルボックスの設置について。朝霞第二小学校、住田航雅。

最近、地球温暖化が進むので、リサイクルボックスを学校や児童館など、子供にとって身近な場所に設置するようにお願いしたいと思います。

リサイクルボックスのイメージは二つあります。

一つ目は、ペットボトル又は牛乳パックを入れてくれたら、回収して最終的にリサイクルをする。また、その設置をすることで、子供たちもリサイクルをする習慣ができるため

です。

二つ目は、不要なものをほしい人にあげる。

手順は、

①不要な物（おもちゃや日用雑貨）などを、特定の場所（学校、児童館など）に届ける。

②誰が寄付したか、名前と連絡先を書いてもらう。

③番号を付けて展示する。

④ほしい人は、番号を言い、受け取る。

⑤電話などで、予約をする。

⑥展示期間を決める（大体一、二か月ほど）。展示期間を過ぎても来なければ、ほかの場所に回す。

⑦余りに使えないものや、大きすぎるものは返却する。

これらのものを、子供が行く身近な場所（学校又は児童館）などに置いておけば、子供も関われるから良いと思います。

この提案が、朝霞市でも実現できるようにご検討をお願いします。

○**滝瀬佳音議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 子供にとって身近な場所にリサイクルボックスを設置してほしいということについて、お答えいたします。

地球温暖化を防ぎ、資源を大切に使うためにも、リサイクルはとても大切なことです。市では現在、ペットボトルや牛乳パックを資源としてもう一度使えるようにするため、ほかのごみとは分けて集めています。

リサイクルボックスは、スーパーやコンビニエンスストアに設置されていますが、家庭で出たペットボトルや牛乳パックは、普段使っているごみ集積所に出すこともできますので、住田議員も、まずは、このような場所に出すことでお友達と一緒にリサイクルをしてみたいと思います。

次に、要らないものをほしい人にあげるということについてお答えいたします。

不要になったものをほかの人に使うてもらうという住田議員のお考えは、リデュース、リユース、リサイクルという3Rの考え方そのものであり、大変素晴らしいと思います。

リサイクルプラザでは、リサイクルショップや不用品情報交換コーナーなどがありますが、どちらも、家庭で使わなくなったものをほかの人に譲って、再び使ってもらえるような活動をしていますので、是非、ご家族の方と一緒にご利用いただければと思います。

今回、ご提案をいただいた内容を含めて、この3R活動をどのようにしたら皆さんに身近に感じてもらえるか、市としても考えていきたいと思いますので、住田議員も、是非、この3R活動にご参加をいただければと思います。

○**滝瀬佳音議長** 以上で、朝霞第二小学校の住田航雅議員の一般質問を終わります。

◇阿部 莉々子 議員

○**滝瀬佳音議長** 次は、5番、朝霞第三小学校の阿部莉々子議員です。登壇して、質問をお

願います。

〔阿部莉々子議員登壇〕

○**阿部莉々子議員** 市内循環バス「わくわく号」の利用者を増やすために。朝霞第三小学校、阿部莉々子。

私は、朝霞市役所の掲示板にバス「わくわく号」の運賃の値上げを知らせるポスターを見付けました。その記事が気になり、家に帰って調べてみると、コロナ禍の影響により利用者が減少し、現在、年間でおよそ1億円近い赤字運営だと知りました。

また、原油価格の高騰や人件費等の上昇により、年々運行経費が増大し、5年前と比較すると、1,000万円近く運行経費が増大しているという事実を知りました。今後も運営経費が増え続けてしまうと、朝霞市から「わくわく号」がなくなってしまうのではないかと考えました。

私たちのように元気に歩いたり、自転車で簡単に遠くまで行けたりする人は、バスに乗る必要はないかもしれません。しかし、お年寄りや身体の不自由な人にとって、バスは安価で気軽に利用できる、便利で必要不可欠なものです。このまま利用者が減り続けてしまうと、「わくわく号」がなくなってしまう可能性があります。

そこで、「わくわく号」の利用者を増やすために、私にも何かできないかと考え、提案します。

一つ目は、子供がいる家族で楽しく乗れるように、スタンプラリーなどのイベントをすることです。それぞれのバスの中でスタンプを押してもらえたり、スタンプをためてぼぼたんシールがもらえたりと、子供が楽しめるような工夫があると良いと思いました。

二つ目は、朝霞市報にお財布に入れられるような、ルート・時刻表を入れることです。朝霞市では、7月からスマートフォンやパソコンなどでいつでもバスの位置情報や運行情報がリアルタイムで確認できる「バスロケーションシステム」が導入されました。しかし、お年寄りの中には、スマートフォンやパソコンを持っていない人も多いです。そこで、お財布に入れられるような、ルート・時刻表を配ることで利用しやすくなると考えました。また、駅や病院、市役所、保育園、老人ホーム、郵便局などに、大きく見やすいルートの書いてある地図や時刻表を置くことで、更に利用が増えると考えます。

以上、この提案が朝霞市でも実現できるように、ご検討よろしく願います。

○**滝瀬佳音議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 一つ目の、家族で「わくわく号」に楽しく乗れるためのイベントを実施してほしいということについて、お答えいたします。

阿部議員が、「わくわく号」に興味を持っていただいて、ご利用する方々を増やす方法を考えていただいたことは、大変うれしく思います。

阿部議員お調べのとおり、「わくわく号」は運行するために多くの経費を必要としておりまして、近年、その経費が増加しています。そのため、運行を続けていくには、より多くの方に利用してもらうことが大切だというふうに考えています。

ご提案のスタンプラリーについては、子供がいるご家族の利用を増やすことにつながる

取組だと思しますので、どのような形で実施できるか、バス会社などと一緒に検討してみたいと思います。

二つ目の、小さい時刻表の配付についてでございますが、現在、市では、バス停から近い公共施設で小さいサイズのバスマップや時刻表を配付しています。今後、民間施設にも声掛けをし、ご協力いただける施設を増やしていきたいと思っております。

また、大きく見やすい地図や時刻表の設置についてでございますが、設置できる良い場所があるか調査してみたいと思います。

全国的にも、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通機関については、コロナですとか、あるいは運転手不足の影響により、大変苦しい状況にあります。

阿部議員のご提案のとおり、より多くの方にご利用いただくことが、公共交通機関を応援する大きな力となりますので、議員がご家族の方々やお友達と出掛ける際には、積極的に公共交通機関をご利用いただければと思います。

○**滝瀬佳音議長** 以上で、朝霞第三小学校の阿部莉々子議員の一般質問を終わります。

◇山崎 愛夏 議員

○**滝瀬佳音議長** 次は、6番、朝霞第三小学校の山崎愛夏議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔山崎愛夏議員登壇〕

○**山崎愛夏議員** 続小学生でも使えるぼぼたんグッズの企画について。朝霞第三小学校、山崎愛夏。

皆さん、市町村にある「ご当地キャラ」には、どのようなイメージを持っていますか。かわいいキャラ、かっこいいキャラ、中には全国的に人気があるキャラもいます。

ご当地キャラがいると、例えばそのキャラの商品が売れると自治体がもうかったり、そのキャラの地域のイメージアップになったりします。観光客の増加や、住人が地域に愛着を持つきっかけになると思います。要するに、キャラへの愛着が、地域への愛着を育む第一歩となる可能性があるのです。

朝霞市には、「ぼぼたん」というかわいらしいキャラクターがいてグッズも販売しています。しかし、友達に聴いたところ「ぼぼたんは、もちろん知っているけどグッズは持っていない。」という人ばかりでした。理由は、今あるぼぼたんグッズが、小学生にとって限られたお小遣いで買うには価格が高い、普段使うものではないなど、「小学生に対して身近なグッズになっていない。」ということでした。確かに、私が調べたところ、今売っているグッズは、タオルやバッグなど1,000円から6,000円くらいのものが多かったです。

そこで、「小学生でも持てる身近なぼぼたんグッズ」を提案します。

私が考える、小学生にとって一番身近なものは、学校でも家でも使う文房具です。この絵のような文房具のグッズが増えれば、ぼぼたんを、朝霞市をより多くの人に広めることができ、朝霞市への愛着を育むことにつながると考えます。

また、手に入れやすいことも私たちにとっては大切なことなので、100円ショップや

コンビニで買える、市からの配付があるなど、多くの人が手に取りやすいようにもしていくべきです。

この提案が朝霞市で実現できるように、ご検討よろしく申し上げます。

○**滝瀬佳音議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 続小学生でも使えるぽぽたんグッズの企画について、お答えいたします。本市のキャラクターぽぽたんが、小学生の皆さんに親しまれているということがとても分かりました。本当にうれしく思います。

また、今回の山崎議員が考えられたグッズのアイデアですけれども、これは、大人でも手にしたくなるようなかわいらしいもので、とても感心いたしました。

さて、ぽぽたんのグッズについては、市内外のお店から申請をいただいて、様々な商品を製作・販売していただいています。今後、そういったお店の方に、小学生の皆さんから、「手に入れやすい価格の文房具を作ってほしい」という声があることをお伝えしたいと思います。また、市としても、小学生の皆さんにお渡しできるグッズを企画することも考えてみたいと思います。

山崎議員が言われるように、ぽぽたんは、皆さんに朝霞を好きになってもらえるよう、市のイメージアップのために一生懸命活動をしています。これからは是非、応援をお願いしたいと思います。

○**滝瀬佳音議長** 以上で、朝霞第三小学校の山崎愛夏議員の一般質問を終わります。

◇**簾藤 彩空 議員**

○**滝瀬佳音議長** 次は、7番、朝霞第四小学校の簾藤彩空議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔簾藤彩空議員登壇〕

○**簾藤彩空議員** 小中学生が参加できるボランティアイベントの開催について。朝霞第四小学校6年、簾藤彩空。

私は、小中学生が参加できる「環境問題に関するボランティア活動」の実施を提案します。これは、これから大人になる小中学生を対象に、ボランティア活動や環境について学ぶ機会を実施するものです。

私は、普段登校中や近くの公園に遊びに行く道中で、ごみが落ちているのを見掛けます。また、通学中に登校班の1年生が、落ちているごみを踏んでしまったこともありました。

ごみの問題について調べてみると、地球温暖化につながることを知りました。また、地球温暖化が原因でロシアの永久凍土が溶け続けているということも知り、地球温暖化の怖さを感じました。これらのことから、これから大人になる小中学生が、ボランティア活動や環境問題について学ぶ機会を提供できないかと考えました。

具体的な内容は、以下のとおりです。

まず、実施時期についてです。実施する時期は、小中学生の時間が工面できる夏休み中です。夏休み中であれば学校が休みなので、小中学生が参加しやすくなると考えました。

次に、環境問題について学ぶということです。勉強会をセットにすることで、ごみ拾いをするだけでなく、環境について学ぶことで環境問題に関心を持ってもらえると思います。

エコネットあさかでは、リサイクルに関するたくさんの情報が市民に提供されています。ごみ拾いの場所に出前授業として来ていただき、知識を広げることで、環境問題への意識が高まるのではないかと考えています。

これらの取組により、子供たちの環境問題への意識が高まり、朝霞市がより住みやすい市になると思います。私の住む朝霞市からごみをなくし、地球温暖化の進行を少しでも止められるよう提案します。

○**滝瀬佳音議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 環境問題について学べるボランティア活動やイベントを夏休み中に実施してほしいということについて、お答えいたします。

簾藤議員が、ごみ問題をきっかけに地球温暖化について学び、さらに、将来を担う小中学生の環境問題を学ぶ機会が必要であるという考えに至ったことは、大変すばらしいことだと思います。

市では、夏休み期間を中心にエコネットあさかで、小中学生でも気軽に参加できるイベントを開催しております。これは、家庭で使わなくなった紙を、手すきはがきとしてもう一度生まれ変わらせる体験ができる講座です。また、毎年8月には、黒目川・川まつり実行委員会が行っている「川まつり」におきまして、河川敷の掃除のほか、理科の授業のように実験器具などを使った川の水の調査や、川で捕れた魚の種類調査などを行っていますので、黒目川について学びながら、環境美化活動を行うことができるようなイベントもございます。

また、彩夏祭の期間中は、朝霞市コミュニティ協議会を中心に、参加団体やボランティアの皆さんが、花火を打ち上げた後のごみなどを清掃して会場の美化に努めています。

簾藤議員もお友達と一緒にこれらのイベントやボランティアに参加していただいて、身近な体験を通して地球温暖化対策や環境問題などを皆で考えながら、ごみのない住みよい朝霞市にしていきたいというふうに思います。ありがとうございました。

○**滝瀬佳音議長** 以上で、朝霞第四小学校の簾藤彩空議員の一般質問を終わります。

◇武田 結心 議員

○**滝瀬佳音議長** 次は、8番、朝霞第四小学校の武田結心議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔武田結心議員登壇〕

○**武田結心議員** 赤ちゃんの子育てを支援する施設について。朝霞第四小学校6年、武田結心。

2022年の2月、弟が生まれました。1歳8か月になった弟や世話をする家族の様子を見ていて、朝霞市に提案させていただきます。それは、「市内に、赤ちゃんの子育てを支援する施設を作してほしい」ということです。

私の家では、母がずっと弟の世話をしています。生まれた頃は、泣いているときだけでなく、寝ているときもずっと心配して様子を見ていました。子育ては、朝も昼も夜も休みのないものだなと思いました。

さらに、母は、夜、弟が寝た後も家のことをしてくれています。私も、母が料理をしている間に弟の面倒を見たり、一緒にお風呂に入ったりと、できることは積極的にしていますが、もうすぐ中学生になり、今より忙しくなると、母により負担が掛かってしまうのではないかと心配です。

そこで、子育てを支援する施設として、小さい子を育てる親が子供を預けられるところを、いろいろなお店と協力して作ることを提案します。少しの間でも子供を預け、お母さんたちがマッサージを受けたり、買い物を済ませたりすることで、気持ちをリフレッシュして子育てに向かえらと思います。

この問題を考えたとき、朝霞市にも既に一時保育があることを知りました。しかし、対象が満1歳以上だったり、お金が掛かったりするようで、気軽に頼みづらいつ感じました。また、場所も限られており、遠くて利用できない人や、人数制限があることで、頼みたいときに頼めない人もいたのではないかと感じます。

その課題を解決するために、スーパーマーケットやマッサージ店の中、または近くに、託児施設を作っていただきたいと感じます。お店と協力することで、短時間でも買い物などの目的を果たすことができます。近くにいるので、何かあったときもすぐに駆け付けられて安心です。

このような施設が朝霞市にでき、安心して前向きに子育てができるよう、ご検討をよろしくお感じします。

○**滝瀬佳音議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 赤ちゃんの子育てを支援する施設の設置について、お答えいたします。

まず、武田議員が、弟さんが生まれてからのお母さんの様子によく気付き、そして弟さんの面倒を見たり、一緒にお風呂に入ったりと、家庭で子育てをしていることが大変素晴らしいことだというふうに感じました。

武田議員のご指摘のとおり、本市の公立保育園で実施をしております一時保育では、預かることのできるお子さんを満1歳児以上としておりますし、保育園が遠くて利用できない方もいるかもしれません。武田議員ご提案の、スーパーマーケットやマッサージ店、また、その近くに託児所を作るということは、子供を預けたい方々にとって大変便利だというふうに感じます。

そういった施設を作るにはお店の協力が必要なので、すぐに実現するということはちょっと難しいですけども、朝霞市には、ファミリー・サポート・センターというものがございます。ここに登録をいたしますと、生後2か月から子供を預けることができるようになります。

ファミリー・サポート・センターでは、子育てのお手伝いを必要としている人に、お手伝いができる人を紹介して、マッサージや買い物、そしてリフレッシュしたいときなどに

子供を預けることができるように取り組んでおりますので、是非、武田議員のお母さんにも紹介をしていただいて、ご登録をするようにお勧めいただければというふうに思います。

本市では、子育てがしやすいまちの実現に取り組んでおりますが、武田議員のご家族を始め、子育て中の皆さんが、安心して前向きに子育てができるまちとなるよう、いろいろな子育て支援策をこれからも考えていきたいと思っております。

○**滝瀬佳音議長** 以上で、朝霞第四小学校の武田結心議員の一般質問を終わります。

◇高野 紗衣 議員

○**滝瀬佳音議長** 次は、9番、朝霞第五小学校の高野紗衣議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔高野紗衣議員登壇〕

○**高野紗衣議員** 小水力発電を黒目川に設置し、足元灯に活用することについて。朝霞第五小学校、高野紗衣。

私は、黒目川に水力発電の電力を使い、足元灯を階段の端に設置することを提案します。

なぜ、水力発電の電力を使うのかというと、環境のことを考えつつ、朝霞市の長所を生かして何かを提案したいなと思ったからです。また、足元灯の電気を黒目川に設置したいと考えています。理由は、階段の端に足元灯をつけるだけで、けがのリスクが少なくなるからです。というのは、黒目川の川沿いに向かうときに階段があり、お子様やお年寄りの方が、階段の端が暗くて見えづらく、転倒しそうになる可能性が考えられるからです。そんな時に足元灯をつけていると、けがのリスクが少なくなると考え、設置することが有効ではないかと考えました。

このように、水力発電の電力を足元灯につけるのは、とてもメリットがあります。安心安全に黒目川に作れるといいなと思い、私は、足元灯を設置することを提案します。

次に、水力発電の仕組みについてです。筒状の発電機を使用します。その筒に折り畳まれている羽根を広げ、川の中に流しておくだけです。数時間沈めておくと、搭載されているリチウム電池が蓄電され、電力に変換されます。また、蓄えた電力を使用し、LEDタイプのランタンとして使用することもできます。水中でも陸上でも、安定して照らすことができることも魅力の一つです。

最後に、発電機と設置場所と足元灯の使用場所について説明したいと思っております。この辺に水力発電を設置したいと考えています。なぜかということ、水力発電で使われる水車も朝霞の中で有名にしたいので、お祭りなどでにぎわうところに設置したいからです。

私は、このような水力発電を使って、足元灯を設置したいと考えています。階段を明るくして、そこを利用する人々が安心して通れるようにしたいと考えています。

提案は、以上です。

○**滝瀬佳音議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 黒目川に水力発電を使った足元灯を設置し、安心安全に通れるようにしてほしいということについて、お答えをいたします。

黒目川の土手は、多くの市民の方が散歩などに利用し、自然を楽しんでいただいております。高野議員が、お子様やお年寄りなど皆さんの安全や、環境を守ることについて考えていただいていることを知りまして、大変うれしく思います。

黒目川への水力発電の設置ですけれども、電気を作るための安定した水の流れや落差があるかや、川が増水した際の安全性等、ふさわしい設置場所を考える必要がございます。また、足元灯の設置については、自然の中で生きている動物や植物への影響を考える必要もありますので、実際にこの黒目川を管理しているのは、埼玉県朝霞県土整備事務所というところが行っておりますので、今回の高野議員のご提案の水車の設置や水力発電などのすばらしいアイデアは、そちらの方にお伝えをさせていただいて、市も一緒に話し合っていきたいというふうに思います。

市では、今後も、人にも自然にもより良い環境整備に努めまして、黒目川を人々が安心して快適にご利用いただけるように取り組んでいきたいというふうに思います。

○**滝瀬佳音議長** 以上で、朝霞第五小学校の高野紗衣議員の一般質問を終わります。

この際、暫時休憩します。午前11時10分までとします。

(午前10時55分)

○**西谷実結奈副議長** 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午前11時10分)

○**西谷実結奈副議長** ここからは、議長に代わり、副議長の西谷実結奈が議事の進行を務めさせていただきます。

よろしく申し上げます。

◇**渡邊 ふみ 議員**

○**西谷実結奈副議長** それでは、10番、朝霞第六小学校の渡邊ふみ議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔渡邊ふみ議員登壇〕

○**渡邊ふみ議員** 学校の廊下に鏡を付けることについて。朝霞第六小学校、渡邊ふみ。

私は、5年生のときに保健体育の授業で、学校で起こるけがのことを学習しました。その中でも階段での事故は、誰にでも起こることであると学びました。

これは、昨年保健室に来た児童の割合をグラフで表したものです。階段や廊下での事故は、校庭、体育館、教室に次いで4番目に多い結果でした。けがをした理由については、勢いよく曲がってぶつかってしまった、階段で走ってしまったなどという意見が多くありました。

私も、これまでの学校生活の中で、階段や廊下で衝突した経験があります。そのときに、衝突しないためには、落ち着いて階段を使用すれば衝突することはないのになと思いまし

た。また、ほかの人たちには、私と同じ経験をしてほしくない、階段を安全に使用できるようにしてほしいという思いから、今回の提案を思い付きました。

このことから、私は、階段の曲がり角にミラーを付けることを提案します。見通しの悪い道路にはカーブミラーが付いているように、この提案が実現し、学校の階段にミラーを付けることで衝突の件数を減らすことができると思います。また、普段からミラーを確認する癖を付けることで、衝突を意識し、周りを見て落ち着いて階段を歩行することができると思います。

この提案が、朝霞市でも実現できるように、ご検討をよろしくお願いします。

以上です。

○**西谷実結奈副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

教育長。

○**二見隆久教育長** 学校の廊下に鏡を付けることについて、お答えいたします。

学校での衝突によるけがを減らすために、学校の階段にミラーを付けてほしいということでした。

まずは、渡邊議員が体育の授業の中で、学校内で起こるけがについて学んだことをしっかり理解をし、自分の学校内においてけがが起こった場所を調べ、自分の経験も踏まえた上で、学校生活をより良くしていこうと今回の提案されたことは、とてもすばらしいと思います。

先ほど提示された資料では、「階段の踊り場」というミラーを設置する場所を具体的に想定しており、提案に対する渡邊議員の強い思いを感じることができました。

廊下や階段でのけがをなくすために、まずは、児童生徒の皆さん一人一人が、右側を歩くなどルールを守って落ち着いた行動をとってほしいと思います。その上で、廊下や階段などの曲がり方の安全対策として学校と相談しながら、ミラーの設置については、具体的に検討していきたいと考えています。

教育委員会としても、これからも児童の皆さんが、快適に学校生活を送れるように支援をしてまいります。よろしくお願いします。

○**西谷実結奈副議長** 以上で、朝霞第六小学校の渡邊ふみ議員の一般質問を終わります。

◇村田 花乃音 議員

○**西谷実結奈副議長** 次は、11番、朝霞第七小学校の村田花乃音議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔村田花乃音議員登壇〕

○**村田花乃音議員** 地震の被害を抑えるために。朝霞第七小学校、村田花乃音。

今、南海トラフ地震や首都直下地震など、大規模な地震が近い将来起こると言われています。ある企業が、男女4,000人に「自然災害に備えているか」とアンケートしたところ、している人が4割、していない人が6割と、備えていない人の方が半数以上という結果になりました。地震だけでなく、大雨や洪水などもそうです。朝霞市には、黒目川や

荒川、新河岸川があります。もし氾濫したら、すぐに避難しなくてはなりません。災害は、完全に防ぐことはできません。しかし、一人一人が備えることで、災害が起こったときに悲しい思いをする人が減ると思います。

そこで私は、「朝霞市の各家庭の防災対策を努力義務化する」ということを提案します。例えば防災リュックの中身や避難場所を月に一度家族で確認することから始め、L字型金具や耐震ポールを取り付けてみるなど、具体的な対策をするのもいいと思います。

さらに、飲料水や簡易トイレなどのライフライン以外にも、赤ちゃんがいる場合はおむつや粉ミルク、避難生活でのストレスを少しでも少なくできるように、折り紙やメイク用品など、自分に必要なものを入れて防災リュックを作るなど、自分にできる防災対策はたくさんあります。これをすることによって、もし災害が起こっても、すぐに避難することができ、落ち着いて行動ができます。

私は、まだこのような大きな災害を体験したことがありません。なので、どれくらい怖いもので、どれだけ不安に襲われるのか、想像することしかしてきませんでした。ですが、もし起きたとき、「こうしておけばよかった」と後悔しないように、家族、友達、周りの人、そして自分自身の身を守るために、まずは、一人一人の防災対策の意識を高めることが重要なのではないかと思います。

なので私は、「朝霞市の各家庭の防災対策を努力義務化する」ということを提案します。

これで、提案を終わります。

○**西谷実結奈副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

○**富岡勝則市長** 防災対策の意識を高めるために朝霞市の各家庭の防災対策を努力義務化してほしいということについて、お答えをいたします。

村田議員の、悲しい思いをする人を減らすために防災対策の意識を高めるということは、大変素晴らしいことだというふうに思います。また、資料の方も iPad を使いこなして、大変素晴らしい資料を見せていただきました。私にはちょっとできない作業だったかなというふうに思います。あんまりびっくりして、ちょっと今、答弁を間違えました。すいませんでした。

それでは、災害対策についてですけども、災害対策には、自分自身と家庭の身の安全を守る「自助」や、地域やコミュニティといった周囲の人たちと協力して助け合う「共助」のほか、市役所や消防、警察といった公的機関による「公助」というものがございます。村田議員のご提案については、この「自助」に当たるかと思います。

特に、防災リュックは、避難時には大変重要であるというふうに市としても考えておりまして、本市でも災害ハザードマップ等に非常用持ち出し品等を掲載しておりますけれども、村田議員ご提案の物品については、おむつ等の家庭環境に応じたきめ細やかなものまで触れておられて、大変参考になるものでした。

市民の皆様には、努力義務化をしないで済むように、共助や公助を含めて総合防災訓練や防災フェア、防災展、防災講座など様々な場を通して防災意識を高めるとともに、防災

対策の紹介などを行って、今後も少しでも地震を始めとした災害の被害軽減ができるよう、安全で安心な朝霞市をつくっていききたいというふうに思っておりますので、村田議員についても、今後とも一緒に協力をしていただきたいというふうに思います。

ありがとうございます。

○**西谷実結奈副議長** 以上で、朝霞第七小学校の村田花乃音議員の一般質問を終わります。

◇増田 和翔 議員

○**西谷実結奈副議長** 次は、12番、朝霞第七小学校の増田和翔議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔増田和翔議員登壇〕

○**増田和翔議員** プールの授業について。朝霞第七小学校、増田和翔。

毎年、小中学校では、プールの授業があります。ですが、学校の屋外プールは、夏で晴れていて気温も水温もちょうど良いときにしか入れません。また、プールの水やシャワーなどはとても冷たく、見学者は、少しのひさしだけでとても暑い場所で待機しなければなりません。そこで、プールの授業をわくわくドームなどの民間のプールにすることを提案します。

こうすることで良いことが、三つあります。

一つ目は、プールにいつでも入れることです。わくわくドームは、室内で気温や水温が一定で屋根もあるので、夏でも冬でも、雨が降っているときでも入れます。また、水やシャワーが温かく、見学する場所も学校よりちょうど良い気温です。そのため、プールの予定が立てやすくなります。

二つ目は、掃除や水質検査などを児童や先生がやらなくて良いことです。その分、ほかのことをしたり、プールに入る時間を長くすることができます。

三つ目は、コストが抑えられることです。山梨県富士吉田市では、市内の小学校7校で掛かるプール維持費は、学校だと40年で約35億円ですが、民間に委託すると約14億円という試算があります。民間に移行することによって、約6割ものコストカットになります。

この提案には、わくわくドームなどの施設に行く時間が掛かると予想されます。ですが、市内にある施設を利用することで、時間の短縮が可能になると思います。また、移動に先生が多く必要になるかもしれませんが、いつでも入れるので、1日1学年など分散して入ることで解決できると思います。

このように、児童にも先生にも市にもメリットがあるプールの授業のわくわくドームなどの民間への移行を提案します。これで、僕の提案を終わります。

○**西谷実結奈副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

教育長。

○**二見隆久教育長** プールの授業を民間に移行してほしいということについて、お答えをします。

まずは、増田議員が自分のことだけではなくて、先生方のことや朝霞市のことを考えてくれてありがとうございます。

プールを管理する上での負担を減らしていく視点や、維持費も含めた他県の動向まできちんと調べて、よく考えられた質問だと思います。

小中学校における水泳の授業は、各学校で立てている体育の授業の計画に沿って行われています。増田議員のご質問にもあったように、学校のプールは屋外にあるため、天気が悪いとプールで授業ができないことや、学校によっては、プールの施設が古くなってきていることなどが、これまでもありました。

そこで、朝霞市でも令和3年度に、これからの水泳の授業をどのように行っていけばいいかという検討をしました。具体的には、民間のプールで行うとどれぐらいの費用が掛かるのか、あるいは、各学校のプールは、あとどれぐらい使用できて、もし建て直すとしたら何年後ぐらいになるかといったことを検討しました。

増田議員のご提案の、水泳の授業を民間のプールで行うことは、多くのメリットがあると思います。今年の水泳の授業が実際にどのように行われたのかを確認しながら、朝霞市としても、今後のより良い水泳の授業について具体的に検討していきます。

○**西谷実結奈副議長** 以上で、朝霞第七小学校の増田和翔議員の一般質問を終わります。

◇保崎 海音 議員

○**西谷実結奈副議長** 次は、13番、朝霞第八小学校の保崎海音議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔保崎海音議員登壇〕

○**保崎海音議員** 朝霞市に音楽を。朝霞第八小学校、保崎海音。

「音楽は人を笑顔にする」と言われています。そんな音楽に気軽に触れられる場を設けたい。

なぜ、このような提案をするかということ、朝霞市に児童館などの遊び場はたくさんありますが、大人と子供、どちらも楽しめる場所をもっと増やすと、みんな音楽で笑顔になり、楽しめると考えられるからです。

なぜ、大人と子供どちらもかということ、自分が児童館に行き、親子がいて、大人が子供に付き添っているだけのように見えるからです。何か楽器があることで、大人も楽しめるのではないかと考えたからです。

また、音楽で笑顔になることは、自分が、音楽の授業などで歌を歌っていると楽しい気持ちになり、気持ちが明るくなるから、朝霞の人にも音楽を通して笑顔を作りたいと考えました。

そこで、駅前などにストリートピアノや手軽に触れられる楽器を置いたり、演奏できる場所を作ったりして、朝霞市に、音楽を通してみんなが笑顔になる取組を行ってほしいです。

この提案が、朝霞市で実現できるように検討をお願いします。

○**西谷実結奈副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

す。

教育長。

○**二見隆久教育長** 「朝霞市に音楽を」ということについて、お答えいたします。

保崎議員のご指摘のとおり、音楽は人を笑顔にするほかにも、人の心を癒したり、リラックスさせたり、脳の活性化を図るなど、体に良いことがたくさんあるというふうに思います。

朝霞市では、音楽のあふれるまちづくりを進めていくために、朝霞市文化協会の皆さんと一緒に、「市民芸能まつり」や「芸能のつどい」を実施し、市民の皆さんが広く音楽に親しむ時間や、参加しやすい場所をお伝えしています。このほかにも、東洋大学の管弦楽団の皆さんによる「ファミリーコンサート」を開催し、市民の皆さんと共に音楽を楽しむような様々な取組を行っています。

保崎議員ご指摘の、ストリートピアノや手軽に触れられる楽器を置くことはできないかということでございますが、最近では、駅やショッピングモールなどにピアノが設置されて、誰もが気軽にピアノを演奏できる様子がテレビ番組などでも放送されています。

朝霞市内でも、以前から、朝霞駅南口駅前広場でストリートライブを行ったり、シンボルロードの中央広場などに演奏できる場所がありますので、保崎議員のご意見を参考に、朝霞市の春夏秋冬のイベントの際にできるだけ多くの演奏ができる場所を作るなど、音楽を通してみんなが笑顔になる取組について考えてみたいと思います。

○**西谷実結奈副議長** 以上で、朝霞第八小学校の保崎海音議員の一般質問を終わります。

◇山岸 千真 議員

○**西谷実結奈副議長** 次は、14番、朝霞第八小学校の山岸千真議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔山岸千真議員登壇〕

○**山岸千真議員** 朝霞市に周遊バスを設置することについて。朝霞第八小学校、山岸千真。

僕が、「朝霞の周遊バス」を提案したきっかけは、全部で二つあります。

一つ目は、「朝霞には坂が多い」からです。朝霞は、埼玉県の中でも一番、坂が多いです。坂が多いと、朝霞に住んでいる人は、交通の便がとても悪くて不便です。なので、朝霞の周遊バスを作ることで交通の便を良くし、暮らしやすくします。

二つ目は、「安全」です。最近では、朝霞に不審者や変質者が増えてきています。なので、周遊バスに乗れば家の近くまで行けるので、危険は少なくなります。

これらの二つの理由から、朝霞市に周遊バスを作った方がいいと思います。

次に、この提案内容について説明します。

まずは、誰に向けてについてです。主に「子ども」や「お年寄り」「子ども連れのお母さん、お父さん」に視点を当てて考えました。まずは、「お年寄り」「子ども」を無料にするというシステムを作ります。そうすることで乗りやすさがあり、利用者も増えます。

次に、バス停の設置場所についてです。保育園周辺や老人ホームなどの近くを中心に設置します。そうすることで、子供の送り迎えや外出するときなどに便利です。

最後に、バスのデザインです。朝霞市は、「にんじん」や「ぼぼたん」などが有名です。それらを用いたデザインのバスも必要だと考えています。

是非、検討をよろしくお願いします。

○**西谷実結奈副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

○**富岡勝則市長** 暮らしやすく安全にするために、保育園や老人ホームなどの近くを中心に停車する周遊バスを設置してほしいということについて、お答えをいたします。

山岸議員が「交通」と「安全」の二つの面から、周遊バスを走らせることについて検討されていることは、大変すばらしいことだというふうに思います。

本市では、市民の皆さんが少しでも移動しやすくなるように、市内の様々な地域を回りながら、市役所や図書館、公園などの施設を中心に停車する市内循環バスの「わくわく号」を運行しています。

この「わくわく号」は、仕事に行く方のほか、子供からお年寄りまで多くの方がご利用をいただいておりますので、山岸議員がお考えのように、利用しやすいバスの環境を考えることは、すごく大切なことだと思います。

また、にんじんなどの朝霞の特産品をモチーフにしたデザインのバスであれば、市民の皆さんにとっても愛着が湧く素敵なバスになると思いますので、運行ルートの見直しやバスのデザインを新しくする際に、しっかりと検討してみたいと思います。

山岸議員のお考えのとおり、まちの安全や交通の便を良くしていくことで、朝霞市は今よりも更に暮らしやすくなると思いますので、これからも、安心安全で市民に優しいまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

○**西谷実結奈副議長** 以上で、朝霞第八小学校の山岸千真議員の一般質問を終わります。

◇井上 栞汰 議員

○**西谷実結奈副議長** 次は、15番、朝霞第九小学校の井上栞汰議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔井上栞汰議員登壇〕

○**井上栞汰議員** iPadを更に活用できるように、ICTの環境を整えることについて。朝霞第九小学校、井上栞汰。

朝霞市でiPadを活用することになり、オンラインや毎日学習のためにたくさん使っています。市外の友達に話を聴くと、友達の学校では、Chromebookを使っていて、重いし故障も多いと言っていたので、iPadを使えて恵まれていると思いました。

このiPadをもっと活用できる環境になったらいいなと思ったので、提案します。

まず、全校全教室にAppleTVとプリンターを設置です。iPadを使って、自分も友達も学習が分かるようになったと思っています。軽くて持ち運びに便利なので、どこでも使いたいときにすぐ使えるので、分からないことをすぐに調べられます。Goodnotesのようなデジタルノートアプリを活用し、修正やレイアウトの工夫などが簡単

になり、無限にノートを作れるので、お金も掛からなくなりました。発表をするときは、Apple TVでテレビに映し出し、自分たちの考えや意見をPadletで共有するなど、iPadやアプリの機能を使いながら様々なことができるようになり、授業が楽しくなりました。

しかし、別の学校の友達に話を聴くと、その学校では、やっていないと聴きました。学校によっては、余り使っていないクラスもあると聴きました。なので、この環境がどの学校でもできるようになればいいなと思いました。

授業で活用している中で、自分たちが作ったデータを印刷したいと思うことがあります。だけど、インク代が高くて自由に使うことができないと先生に言われました。印刷のランニングコストを考えてプリンターを選べば、良い環境になるのではと思いました。印刷したものを黒板に貼れば、複数のデータを切り替えて画面に映す必要もなくなり、もっと便利になると思います。

次に、全てのiPadにスタイラスペンを用意です。私の学校では、デジタルノートアプリをよく使い、活用しています。タッチペンで十分という人もいますが、タッチペンだと画面についた手を認識し、書くつもりのない線や、誤操作を起こし、使い勝手がよくありません。手を浮かせて書かないといけないので、手がとても疲れてしまい、書くのが面倒になります。「GIGA端末を文房具のように活用」と文部科学省で言っています。皆さんは、ノートに液漏れするペンや手を浮かせて書かないといけないペンを使いますか？多分、そんなペンは使いませんよね。iPadで便利に絵を書いたり、文字を書き込んだりと文房具のように使うには、スタイラスペンは絶対に必要なアイテムです。iPadの良さは、ほかの端末と違ってペンを使っての作業や動作が安定するので、文房具に最も近い感覚で使用できる端末だと思います。この利点が活かされればいいなと思います。

次に、パソコン室にMacのパソコンを設置です。iPadが配られて、パソコン室がなくなってしまいました。しかし、iPadはパソコンではないので、制限されていて使えない機能があります。また、Apple特有のアプリがOneDriveでは共有できない仕様になっているので、今のままではとても不便です。パソコンが使えれば、アプリの制限もなくなります。また、AirDropを使って、もっと便利に活用することができます。普段はiPadで作業をし、必要なときにパソコンで作業をする環境があれば、今までよりもっと便利に活用できると思います。

そのほかに、卒業するときに自分の作ったデータを持っていけるようにしてほしい。

Apple IDを有効にしてほしい、端末の容量を増やしてほしいなど、いろいろ改善されればいいと思うことがたくさんありますが、少しずつ良い環境になっていけばいいなと思います。iPadを使った教育モデルのような市に朝霞市がなればいいなと思います。

○西谷実結奈副議長 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

教育長。

○二見隆久教育長 iPadを更に活用できるように、ICTの環境を整えるということについて、お答えをします。

朝霞市では、児童生徒の皆さんたちが、これからの時代で必要となる力を身に付けることができるように、i P a dを1人1台貸し出し、様々な学習で使いこなせるように、小中学校をサポートしています。井上議員は、積極的にi P a dを活用しているということ、また、今日もですね、子ども議員の方が、i P a dを普通に使いこなして提案されている姿を見て、大変うれしく思います。

学校のI C T環境は、朝霞市で計画を作成し、それを基に大型ディスプレイやプリンター等、計画的に整備を進めています。井上議員ご指摘のA p p l e T V、今日もここにつけて使っていますが、あるいはプリンター、それからスタイラスペン、M a c B o o kなどについてですけども、使いこなせば非常に便利なものです。ただ一方で、学校での学びにおいて大切なことは、学習の目的を達成するために、そしてA Iにはできない力を身に付けるために、i P a dなどを道具として、ツールとして使いこなすことにあると思います。A p p l e T Vなどの器具をそろえることも大事ですけども、今の環境の中で活用の仕方をよく考えることも大切だと思います。

I C Tの進歩はとても早く、学びのための必要な環境も変わっていきます。朝霞市では、これからもI C T環境については、児童生徒の皆さんにとってより良いものになるように、井上議員の意見を参考にして今後も考えていきたいと思えます。

○**西谷実結奈副議長** 以上で、朝霞第九小学校の井上栞汰議員の一般質問を終わります。

◇小磯 瑞己 議員

○**西谷実結奈副議長** 次は、16番、朝霞第九小学校の小磯瑞己議員です。登壇して、質問をお願いします。

[小磯瑞己議員登壇]

○**小磯瑞己議員** 給食費無料化について。朝霞第九小学校、小磯瑞己。

最近のコロナ禍や、物価の急な上昇で家計を圧迫している中、給食費の年に4万円という金額は、影響を少なからず与えています。文部科学省の調査によると、全国の公立学校のうち、5割弱の学校で給食費を納められていない生徒がいます。なので、僕は給食無料化を提案します。

就学援助のうち、補助制度があるものの、子供が「自分の家は貧乏だ」ということを感じてしまうことになり、利用したくてもしていない人がいることも考えられます。

僕は、義務教育という国が定めた制度は、登校から下校の間で学校にいる間は、経済などの原因で子供の教育に差が出てしまうことは避けるべきだと思います。

埼玉県では、現在、滑川町、小鹿野町が給食無料化を実施しています。東京の葛飾区でも、23区で初めて区立の小中学校の給食費を完全無料化すると決定されました。その後も、品川区や中央区など都内六つの自治体が無料化を決めました。

給食費無償化のメリットは、一つ目は、子供が増えるかもしれないという可能性があるということです。2025年に日本は3人に1人は老人になってしまい、年金制度を僕たちが支えていかなければなりません。子供が増えることで、経済を支える人数が増えるということになります。

二つ目は、習い事や好きなことをすることが、今までよりも増えるかもしれないということです。子供が真ん中の社会になることで、子供向けの事業が増えて、今までは老人向けのサービスが充実していたのが、子供が増えることによって経済や社会の中心となるからです。

ご検討をよろしく申し上げます。

○**西谷実結奈副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

教育長。

○**二見隆久教育長** 給食費の無償化について、ということにお答えいたします。

学校給食に関心を持ち、経済状況や県内、都内の給食費の状況まで調べられていることは、大変素晴らしいと思います。

小磯議員がお調べになったとおり、現在、様々な物価が高騰していて、家庭はもちろん、学校給食で使用する食材の価格も上昇しています。

そのような中で、幾つかの市や区や町などで給食費を無償化しています。ただ、朝霞市では、現在の給食の質と量を維持しながら無償化するとすると、多額の費用、多くのお金が必要となります。

給食費無償化によって、小磯議員が提案してくれたメリットも期待できると思いますが、限られた財源の中で、小磯議員が通う第九小学校の増築を始め、その他の学校でも増築や修繕に多くの費用を使い、学習する環境を整えていますので、まずは、それを優先的に取り組んでいるところです。

これからも、安心して食べてもらえるようなおいしい給食を作っていきますので、残さず食べてほしいなと思います。

○**西谷実結奈副議長** 以上で、朝霞第九小学校の小磯瑞己議員の一般質問を終わります。

◇原田 理央 議員

○**西谷実結奈副議長** 次は、17番、朝霞第十小学校の原田理央議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔原田理央議員登壇〕

○**原田理央議員** ぼぼたんと共に交通事故ゼロへ。朝霞第十小学校、原田理央。

安心、安全な住みやすい朝霞市であってほしい。それが、私の願いです。

最近、全国での交通事故のニュースをよく耳にします。令和4年、埼玉県では、交通事故によって104人が亡くなっています。そんな痛ましい事故が少しでも減ってほしいと私は思っています。

そこで、朝霞市内での交通事故ゼロを目指すために、私は、二つのことを提案します。

一つ目の提案は、朝霞市の危険箇所や交通事故が多いところを洗い出し、その場所に交通標識を立てるというものです。交通標識には、このような、朝霞市のキャラクターである「ぼぼたん」のイラストを活用します。朝霞市民になじみのある「ぼぼたん」を活用し、注目度を高めることで、危険箇所の認知度を上げ、交通事故を減らしたいと考えています。

二つ目の提案は、ぼぼたんの反射板を作成し、市内の小学生に配付するという事です。交通事故の被害の半数以上は、小学生であり、その中でも最も多いのが低学年です。また、昼間よりも夜間の事故の方が多いです。この反射板を使用することで、自動車や自転車側からも歩行者がいることを認知してもらいやすくなり、事故を減らせると考えます。

かわいくて人気のあるぼぼたんなら、一緒に楽しく行動することができ、小学生の防犯意識も高まるはずです。

この「ぼぼたんと共に交通事故ゼロへ」の取組を行うことで、市内の交通事故の件数は更に減り、朝霞市民だけでなく、市民以外の人たちにも「朝霞市は事故が少ない安全で安心なまち」というアピールができると思います。

朝霞市は、令和4年度の交通事故死亡者数がゼロだったそうです。この取組を通して、交通事故死亡者数ゼロを続けることを今後も目指していきたいです。

是非、ご検討をお願いします。

以上で、終わります。

○**西谷実結奈副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

○**富岡勝則市長** 危険箇所や交通事故が多い場所に、ぼぼたんのイラストの交通標識を立ててほしいということについて、お答えいたします。

原田議員におきましては、朝霞市が安心・安全な住みやすいまちであってほしいとの思いから、交通事故をゼロにするために具体的なご提案をいただきました。本当にありがとうございます。

原田議員ご提案の、交通標識に「ぼぼたん」のイラストを活用についてですが、本市では、毎年、学校関係者の皆さんが通学路を点検した結果を基に、朝霞警察署などの関係機関と連携・協力をして交通安全対策を行っていますので、危険な箇所などをお知らせする看板にこれを活用したいと思います。

次に、二点目の、ぼぼたんの反射板を作成し、配付することについてお答えします。

原田議員の分析のとおり、反射板は、身に着けることで車の運転手から歩行者が発見されやすくなりまして、事故の軽減につながる良いアイテムだと思います。

また、小学生への配付については、昨年の子ども議会での要望を頂いたことで、反射板付きのぼぼたんのイラスト入りのランドセルカバーを、朝霞地区交通安全協会様のご協力で、今年から新小学校一年生へ配付を始めさせていただきました。

原田議員には、鋭い観察力と、具体的な対策としてまとめる企画力があると思いますので、これからも「安全で安心なまち」の実現に向けて、ご協力いただければと思います。

○**西谷実結奈副議長** 以上で、朝霞第十小学校の原田理央議員の一般質問を終わります。

◇戸川 このみ 議員

○**西谷実結奈副議長** 次は、18番、朝霞第十小学校の戸川このみ議員です。登壇して、質問をお願いします。

[戸川このみ議員登壇]

○**戸川このみ議員** 朝霞をもっと好きになろう。朝霞第十小学校、戸川このみ。

皆さんは、朝霞市についてどれだけ知っていますか。私が住むこの朝霞市は、自然豊かであり、魅力ある飲食店や商店がたくさん存在します。そんな朝霞市が、私は大好きです。

しかし、ここ数年は、コロナの影響もあり、外で飲食をする人が減ったり、買い物に出掛ける機会が減ったりするなど、朝霞市のことを余り知らない人が、まだまだいるのではないかと感じています。また、コロナの影響で、たくさんの飲食店や商店が、お店を畳まざるを得ない状況にもなりました。

そこで、もっと朝霞市の魅力を知ってもらうために、朝霞市をもっと魅力あるまちにするために、「朝霞市をもっと好きになろう～町商店スタンプラリー～」を提案します。

この町商店スタンプラリーは、このような朝霞市内の商店を載せたスタンプラリーのカードを各家庭に配付します。それを持って飲食や買い物をすると、スタンプを押してもらえるとということです。そのスタンプがたまると、市内で使えるクーポンや割引券がもらえるようにします。この取組を行うことで、今まで知らなかった飲食店や商店を知る良いきっかけになると思います。

また、このスタンプラリーを活用することで、市内でがんばる飲食店や商店には、今までよりたくさんのお客さんが来ることになります。消費者である私たちと、事業者であるお店とで、お互いに大きなメリットがある取組です。

さらに、様々なお店に家族や友達と行くことで、仲が深まるのが期待できます。新しい発見もあり、私たちの選択の幅が広がり、生活の楽しみが増えるのではないかと考えます。

この取組を行うことにより、朝霞市の魅力を更に広げていきたいと思っています。

以上で、朝霞第十小学校の提案を終わります。

○**西谷実結奈副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

○**富岡勝則市長** 朝霞市の魅力を広げるために、町商店スタンプラリーを実施してほしいということについて、お答えいたします。

戸川議員の、スタンプラリーを活用することで朝霞市の魅力をもっと知ってもらい、市内事業者や消費者を支援することができるというご提案は、大変素晴らしいと思います。

市内でのスタンプラリーを活用した主な取組としましては、朝霞駅周辺の個人飲食店で構成する団体の「朝霞食いち」という団体がございます。この団体が主催するチャーハンやカレー、焼きそばの最強決戦シリーズがございました。これは、戸川議員もテレビか何かで見たかなと思いますけれども、テレビ番組でも取り上げられるなどして、大変好評であったと思います。これがまた、市内飲食店を知っていただく良い機会になったのではないかなと感じております。

私も、スタンプラリーによる経済に対する効果は大きいと考えていますので、商工会や商店会などの協力を得ながら、誰でも参加しやすいように、例えばQRコードを取り入れ

るなど、これまでのスタンプラリーよりも幅広い内容で実施できるよう、関係団体と相談したいと思います。

もし、このようなスタンプラリーが実現しましたら、戸川議員にも参加を是非お願いしたいと思いますし、これからも朝霞市の魅力の発掘とPRに、一緒に取り組んでいただければと思います。

○**西谷実結奈副議長** 以上で、朝霞第十小学校の戸川このみ議員の一般質問を終わります。

この際、暫時休憩します。午後1時までとします。

ここで、皆さんに申し上げます。休憩後に開かれる会議から、議長、副議長が交代となります。小学生の部のスムーズな議事の進行にご協力をいただき、ありがとうございました。

なお、子ども議員は地下1階の食堂にお集まりください。

(午前11時58分)

○**藤原愛美議長** 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午後1時)

○**藤原愛美議長** 皆さん、こんにちは。「朝霞“未来・夢”子ども議会」中学生の部の議長を務めさせていただきます、朝霞第五中学校3年の藤原愛美と、

○**加藤裕貴副議長** 副議長を務めさせていただきます、朝霞第一中学校3年の加藤裕貴です。

○**藤原愛美議長・加藤裕貴副議長** よろしくお願ひします。

○**藤原愛美議長** 私たちが住み、暮らしているこのまち朝霞、その未来が夢と希望に満ちた素晴らしいまちとなりますよう、引き続き活発な質問をお願いします。

○**藤原愛美議長** それでは、中学生の部の一般質問を行います、都合により、通告書と一部順番を変更します。

◇三嶋 優奈 議員

○**藤原愛美議長** 24番、朝霞第四中学校の三嶋優奈議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔三嶋優奈議員登壇〕

○**三嶋優奈議員** 路上喫煙について。朝霞第四中学校、三嶋優奈。

駅付近や住宅街等の通学路で、路上喫煙をしている人がよく見受けられます。受動喫煙や火事、健康への被害を考え、路上喫煙禁止地区を設置していただきたいと考えています。

朝霞市をより良くするために四中で行ったアンケートでは、路上喫煙禁止を求める声が

多く挙がり、喘息を引き起こすことや、不快になるといった理由も挙がりました。

実際に、私の30分の通学路には、180本のタバコが路上に捨てられており、そのうちの15%が排水溝付近に、80%が民家の前に捨てられていました。登下校時には、毎回路上喫煙を見るほど、この問題は進行しており、とても深刻です。

また、受動喫煙による超過死亡率は年間約1万5,000人から2万人であり、これは、新型コロナウイルス感染症による1年半の累計死亡数1万7,000人を超える数となっています。

近年、紙タバコよりも電子タバコを使っている人が多く見られますが、電子タバコも微量の臭いや受動喫煙としての影響は変わらないため、全てのタバコにおいて、路上喫煙を禁止していただきたいです。

路上喫煙禁止地区は、小中学校の登下校の時間の7時から8時半と、3時半から6時半に朝霞市全域に設置していただきたいと考えています。

○**藤原愛美議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 受動喫煙や火事、健康への被害を防ぐため路上喫煙禁止区域を拡大し、時間帯は登下校時間に設定してほしいということについて、お答えをいたします。

路上喫煙は、受動喫煙による健康被害やポイ捨てによる火災や、すれ違ったときのやけどにつながる大変迷惑な行為であります。

このため、市では路上喫煙の防止に関する条例を定めまして、道路を含む公共の場所では、紙タバコに限らず、加熱式タバコも含め、路上喫煙をしないよう努めなければならないことといたしました。

また、多くの人が行き交い、特に注意が必要な朝霞駅、北朝霞・朝霞台駅周辺には、喫煙禁止地区を設けて路上喫煙の禁止の表示をしたり、監視パトロールや喫煙マナーの向上のためのキャンペーンも行っております。

三嶋議員からご提案いただいた、禁止地区のエリアを広げることは、昨年度の監視パトロールによる指導件数が1,986件と、禁止地区内で喫煙する人がまだまだ多いことから、もう少し喫煙者のマナーが向上したときにエリアの拡大を考えてみたいと思います。

三嶋議員が、朝霞市をより良くするために、通学路の調査をしたり受動喫煙の影響を詳しく調べていることなど、大変感心をいたしました。

三嶋議員には、これからもきれいで住みよいまちづくりのために、積極的に活動していただければと思っております。よろしく願いいたします。

○**藤原愛美議長** 以上で、朝霞第四中学校の三嶋優奈議員の一般質問を終わります。

◇石亀 心美 議員

○**藤原愛美議長** 次は、19番、朝霞第一中学校の石亀心美議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔石亀心美議員登壇〕

○**石亀心美議員** 税務署付近の街路樹の整備について。朝霞第一中学校、石亀心美。

私たち朝霞第一中学校は、朝霞税務署付近の街路樹の整備を提案します。

写真をご覧ください。こちらは、朝霞税務署付近の道路の前で撮った写真です。現状では、街路樹に細かなものから大きなものまで様々な枝が引っ掛かっています。

そしてこちらは、先日、朝霞第一中学校の前の道路で撮影した写真です。こちらは、約2.6m、人にすると約2人分の大きさがありました。

これらの枝は、風によって不安定です。これらが道に落ちたらどうなるでしょうか。歩道に落ちると人に当たってけがをしたり、車道に落下して車のタイヤがパンクしたり、車が傷つくおそれがあります。

以前、私が税務署前の道を通ったときに、街路樹に引っ掛かっていた枝が、風で車道に落下し、そのまま車が走行してバキバキと音を立てて踏まれている様子を見たことがあります。実際、学校の先生も車を運転している際に、枝が落ちていて危ないと思ったことがあると話していました。

そこで、月2回程度のボランティアを通して美化活動を行うのはどうでしょうか。街路樹の整備だけではなく、ごみ拾いを同時に行うことで、朝霞市をきれいにすることができます。さらに、定期的に整備することで、事故を未然に防ぐことができ、朝霞市民が安心して周辺の道を通れるようになります。

また、ボランティア活動を通じて、地域の方々が交流することができる機会ができると思います。生徒会や児童会、PTAの方々を中心に活動することで、地域の方々と学校のつながりを作っていくことができると思います。

朝霞市をきれいにしながら地域の方々のつながりも強めていくことができると、私たちの住む朝霞市は、より良いまちになっていくと思います。

是非、ご検討いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○**藤原愛美議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 朝霞税務署付近の街路樹の整備やごみ拾いのために、ボランティアを通して美化活動を行いたいということについて、お答えいたします。

朝霞税務署付近の街路樹ですけれども、1年に1回程度、市の方で枯れ枝や落ちそうな危ない枝の切り落としを行っておりますが、それでも強風や雨の影響で枝が折れたり、落ちたりしてしまうことがございます。

また、定期的な清掃を行っておりますけれども、市内には約250kmの市道がございまして、行き届かないこともございますので、道路清掃などの美化活動については、市民の皆様にもご協力をお願いしております。

石亀議員のご提案は、小中学校の生徒さんやPTAの方などに美化活動などのご協力をいただくことで、市内がきれいになるだけでなく、ボランティア活動を通じて地域の方々などと交流ができる良い機会となる、とても素晴らしいご提案だというふうに思います。

市では、ボランティア活動を行う道路美化活動団体というものを募集しておりますが、これに登録をしていただくと、清掃活動に使う備品や集まったゴミの処分について、市の方で協力をさせていただいております。

この一中付近では、既に緑ヶ丘親交会という町内会の方々に定期的に清掃を行っていただいておりますので、その機会には是非、石亀議員にも参加をしていただいて、協力をいただければというふうに思います。

○**藤原愛美議長** 以上で、朝霞第一中学校の石亀心美議員の一般質問を終わります。

◇**齊藤 優衣 議員**

○**藤原愛美議長** 次は、20番、朝霞第二中学校の齊藤優衣議員です。登壇して、質問をお願いします。

[齊藤優衣議員登壇]

○**齊藤優衣議員** 少子化に対する対策について。朝霞第二中学校2年、齊藤優衣。

私は、この街の年齢層について疑問を持ったため、それについての質問をさせていただきます。

今現在、日本ではニュース等で取り上げられるほど、人口減少と少子高齢化が問題となっています。総務省の統計によると、日本の総人口は、去年までにかけて12年連続で人口が減少傾向となっています。また、日本全体の年齢層で見ると、今現在15歳から64歳までの人口が約6割で、3割ほどは65歳以上の人が占めているそうです。また、15歳未満の私たちのような児童の数も年々減少傾向になっています。

朝霞市では、人口推移が年々上昇していますが、年齢層として見るならば、やはり高齢者の割合が高くなってきています。また、児童の数も減ってきているように感じられます。

この問題は、そう簡単に解決できるわけではないということは重々承知しているのですが、何か対策方法を考えているのか、また、その対策方法があったとしたら、一体どのようなものなのか。このような点が気になったため、今回質問させていただきました。

○**藤原愛美議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 朝霞市の少子高齢化対策について教えてほしいということについて、お答えをいたします。

齊藤議員が、少子高齢化対策について統計資料等で調べて考えられていることは、本当にすばらしいというふうに思います。

少子化とは、出生率の低下に伴って、将来の人口が長期的に減少することです。また、高齢化とは、医療の発達等により人の寿命が延び、高齢者が多くなる世の中となることと言われております。そして、この二つの問題を一緒に考えていくことが、少子高齢化対策ということになります。

若い方が少なくなると、働く世代の方が減って1人当たりの負担が増え、自治体が運営している学校や消防、ごみの回収などの公共サービスが維持できなくなるなどの問題が発生するおそれがあります。

少子化となる理由として、結婚を選択しない方、子供を持たない選択をする方などの意識の変化、そして、子育てには費用が掛かるなどの経済的な不安が要因であると考えられています。

市は、これまで男性職員の育児休業の取得促進により子育て家庭を応援したり、3人以上のお子さんがある多子世帯を応援する「あさか多子世帯応援プロジェクト」、そして、出産時と子育て期を見守るための「出産・子育て応援給付金」、大学生世代の若者を応援する「あさか次世代エール支援金」など、経済的な支援を実施してまいりました。

また、彩夏祭やシンボルロードにおけるストリートテラスなど、人と人との交流やまちのにぎわいの創出、児童館や保育所等の子育て施設を整備するなど、子育て環境の充実を図り、朝霞市に住んで良かった、朝霞で子育てをして良かったと感じていただけるまちづくりに取り組んでまいりました。

本市の人口は、増加傾向にございまして、比較的都心に近いことから、急速に少子化が進むようなことは考えられないというふうに思いますけれども、少子高齢化は、本市だけのことではありません。日本全体の課題であるというふうに考えています。

齊藤議員のおっしゃるとおり、この問題は、簡単に解決できる問題ではありませんが、これからの世の中をつくっていく、齊藤議員を始めとする皆さんの考え方も参考にしながら、朝霞市の将来像であります「私が 暮らし続けたいまち 朝霞」を一緒に実現していけるように努力をしていきます。よろしくお願ひいたします。

○藤原愛美議長 以上で、朝霞第二中学校の齊藤優衣議員の一般質問を終わります。

◇岡田 寧音 議員

○藤原愛美議長 次は、21番、朝霞第二中学校の岡田寧音議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔岡田寧音議員登壇〕

○岡田寧音議員 土地・建物の利用状況について。朝霞第二中学校、岡田寧音。

私は、朝霞市の土地の利用状況について質問させていただきたいと思います。

今の朝霞市の土地の利用状況について、少し疑問を持ちました。近年の日本では、国土交通省の発表により、2008年から2018年の間で、日本の空き地は約2倍に増えているそうです。地方を始め、様々な地域で空き地が増加しています。その中の空き地の約6割が、65歳以上の方です。

これは、あくまで日本全土で見たときの統計ですが、朝霞市でもその傾向はあると感じられています。約14万5,000人中、約2万8,000人が65歳以上となっています。そのような人は、空き地は持っているものの、それを活用しようとはせず、そもそも売却等の行動もしていないことが多いそうです。

また、今の朝霞市では、空き地等の売却・譲渡については、次の制度があります。有償で譲渡をする場合、あらかじめ届出を義務付ける「届出制度」、地方公共団体等に買い取ってもらいたい場合、その旨を申し出る「申出制度」。この二つの制度があるということも、最近知りました。

ですが、その土地が売り渡されているのか、売られていないのかどうかは知りませんが、今でもかなりの数の空き地を街中で見かけることが多々あります。そのような状況の中で、朝霞市がどのように空き地の使用を行っていくのかに疑問を持ったため、今回はこのよう

な質問をさせていただきます。

○**藤原愛美議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。
市長。

○**富岡勝則市長** 朝霞市の空き地の活用について教えてほしいというご質問に、お答えをいたします。

岡田議員に調べていただいた、「届出」、「申出」の制度でありますけれども、これは、「公有地の拡大の推進に関する法律」という法律に基づいて行う制度で、将来、道路や公園のような公共施設をつくるために必要な土地について、ほかの人や会社などに売られる前に、市が買い取ることができるか、協議の機会を作る制度でございます。

これまで市では、このような制度も活用しながら、公共施設に必要な土地を取得しております。これからも必要な土地についてしっかりと確保していきたいというふうに考えています。

なお、道路などは、土地を取得してから工事をするまで長期間掛かってしまう場合がございます。その際は、自転車置き場ですとかシェアサイクルのポート、広場などとして暫定的に整備をして、市民の皆さんにご利用いただいております。

また、個人や法人が所有する空き地は、放置したままにいたしますと雑草等が生い茂り、清潔な環境を妨げるほか、火災や犯罪の危険も生じることから、良好な状態で管理をされる必要がございます。そのため市では、空き地の持ち主に対し、適切な管理をお願いしているところでございます。

岡田議員が、普段から市内の空き地の利用状況に疑問を持ち、全国の空き地の増え方の傾向や市が取り組んでいる制度まで詳しく調べていることは、本当に感心をいたしました。是非、これからもその探究心を持ち続けていただきたいと思います。

○**藤原愛美議長** 以上で、朝霞第二中学校の岡田寧音議員の一般質問を終わります。
この際、暫時休憩します。

(午後 1 時 2 5 分)

○**加藤裕貴副議長** 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午後 1 時 2 6 分)

○**加藤裕貴副議長** ここからは、議長に代わり、副議長の加藤裕貴が議事の進行を務めさせていただきます。

よろしく願いいたします。

◇北川 颯太 議員

○**加藤裕貴副議長** 次は、22番、朝霞第三中学校の北川颯太議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔北川颯太議員登壇〕

○**北川颯太議員** 商業施設の開業について。朝霞第三中学校、北川颯太。

朝霞市の商業について、質問させていただきます。

朝霞市では、彩夏祭などの行事により、他の市町村から集客ができています。しかし、彩夏祭は一年に一度しか行っていないため、定期的な集客においては少し欠けていると感じます。また、市内には娯楽施設としてラウンドワンなどがありますが、大型ショッピング施設はありません。そのため、提案させていただくのは、市内にショッピングモール等の商業施設を建設することです。

これらによる利点としては、まず、買い物は定期的に行う必要があるため、一年中集客ができることや、観光目的で来る人も増加させることができます。そのため、市を訪れる人が増加し、市をより有名にすることができます。

ほかには、他の市町村にある商業需要を市内に移すことができ、市民が市外まで移動する必要がなくなるため、市内で買い物が行えるようになります。買い物への移動時間や移動距離の短縮により、買い物が容易になるなどして、新たな需要を生み出すことができます。そのため、市の利便性が向上します。

さらには、市の商業需要が大きくなることにより、人口増加が可能になり、税収を増加させることができます。そして、増加した税収を使うことによって、住みやすいまちづくりを行うことができます。

現在の商業需要の変化は目まぐるしく、商店街が中心だった時代から、郊外のロードサイド店舗や大型駐車場を兼ね備えたショッピングモールが中心になっています。さらに、ここ10年では、AmazonやUber Eats等の通販事業も急拡大しています。そのため、今の需要に合わせるため、他の都市に遅れを取らないためにも、商業施設の建設は重要であると考えられます。これらの理由により、市内に新たな商業施設を建設することを提案いたします。

○**加藤裕貴副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。市長。

○**富岡勝則市長** 市内に新たな商業施設を建設してほしいということについて、お答えをいたします。

北川議員の、商業施設の開業のご提案でございますが、市民の買い物の利便性の向上だけでなく、税収増加による住みよいまちづくりまで考えられておりまして、非常に良い考えだというふうに思います。

本市は、市の南部に川越街道、東部の市境に東京外環自動車道が通り、高速道路に容易にアクセスすることができ、また、現在、国道254号バイパスの整備も進んでいます。このように、道路交通においても大変便利な立地条件にあるわけでありまして。

ご提案のあった、ロードサイド店舗や大型駐車場を兼ね備えたショッピングモールを誘致することで、更なる市の発展につながるものと考えます。

市内では、3年前ですが、カインズやイトーヨーカドーなど約30店舗が入った複合商業施設であります、「くみまちモールあさか」が旧積水化学工業の東京工場の跡地にオー

プンいたしました。

現在は、ショッピングモール等の大型商業施設を建設できるような、まとまった広い土地が少ない状況ではございますが、今後、商業施設の新たな参入の相談があったときには、積極的に話し合っていきたいと思っております。

また、朝霞市には、おいしい飲食店や趣向を凝らしたセレクトショップなど、ショッピングモールに負けないくらい素敵なお店がたくさんあります。みんなでがんばって応援をしていきたいというふうに思います。

北川議員には、是非、市内のお気に入りのお店を発見していただいて、朝霞の魅力をお友達にもお伝えいただくとともに、地元商店街を積極的に利用してもらえると、私としても大変うれしく思います。

○加藤裕貴副議長 以上で、朝霞第三中学校の北川颯太議員の一般質問を終わります。

◇新藤 璃乃 議員

○加藤裕貴副議長 次は、23番、朝霞第三中学校の新藤璃乃議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔新藤璃乃議員登壇〕

○新藤璃乃議員 朝霞市の自転車横断帯、自転車専用の走行レーンについて。朝霞第三中学校、新藤璃乃。

朝霞市の横断歩道には、自転車横断帯が少なく、自転車と歩行者がぶつかりそうになっているときがありました。

また、自転車は道路交通法上、軽車両に分類されるため、歩道ではなく車道を走行するように定められていますが、車道の端を自転車が走行するのは、車との接触事故を起こしてしまう可能性があります。

私は、朝霞三中へ登校していますが、例えば朝霞台駅付近の信号や黒目川通り、二本松通りを通学している生徒と自転車が接触しそうになるという話を耳にします。そのため、自転車横断帯と自転車専用の走行レーンの設置を提案します。

自転車横断帯を設置することにより、歩行者は、信号で安全に横断することができます。そして、自転車は走行すべき場所がはっきりするため、歩行者とぶつかってしまうという心配が減ると考えられます。

また、自転車専用の走行レーンを設置することで歩道を走らずに済むため、歩行者も自転車も安全に通行することができます。車の運転者も、走行レーンを意識した運転ができるので、自転車との接触事故を減らせると考えます。

これらを設置することにより、車、自転車、歩行者、全ての人がお互いに事故の危険性なく、安全で快適に移動ができるのではないのでしょうか。

自転車に乗る際のヘルメットの着用が努力義務化されましたが、ヘルメットを着けただけでは、事故を防ぎ切ることはできません。やはり、安全に走行するためには、ゆとりを持って移動できるスペースがないと衝突事故は減らないと考えられます。

これらのことから、自転車横断帯と自転車専用の走行レーンの設置を提案します。

○加藤裕貴副議長 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。
市長。

○富岡勝則市長 自転車横断帯や自転車専用レーンを設置してほしいということについて、
お答えをいたします。

新藤議員が日常生活を振り返り、安全な自転車利用について具体的な対策を考えている
こと、本当にすばらしいことだと思います。

一つ目の、自転車横断帯の設置ですけれども、朝霞警察署に確認いたしましたところ、
自転車横断帯を渡ろうとすると、直進するか左折するか分からないなど、かえって危険な
横断となってしまう場合があることから、全国の警察を統括する警察庁より、自転車横断
帯は原則撤去することが通達されておりまして、増設は難しいとの回答でございました。

次に、二つ目の自転車専用レーンを設置してほしいということについて、お答えいたし
ます。

新藤議員のご指摘のとおり、自転車通行空間の整備は、安全な交通環境の整備に大変有
効なものであると考えております。

現在、朝霞市では、市役所前のシンボルロードに約800mの自転車道を整備している
ほか、矢羽根型路面標示などの自転車通行空間の整備を、市内四つの道路で、合計約
2,300m整備しております。今年度も、城山通りに約500m整備する予定となって
おります。

今後におきましても、順次、自転車通行空間の整備の検討を行うとともに、朝霞警察署
等の関係機関と連携し、交通ルール遵守の啓発に取り組んでいきたいと考えております。

併せて、新藤議員におかれましても、ヘルメット着用等、交通ルールを守ることにつき
まして、お友達と一緒に率先して取り組んでいただきたいと思います。

○加藤裕貴副議長 以上で、朝霞第三中学校の新藤璃乃議員の一般質問を終わります。

◇藤岡 唯奈 議員

○加藤裕貴副議長 次は、25番、朝霞第四中学校の藤岡唯奈議員です。登壇して、質問を
お願いします。

〔藤岡唯奈議員登壇〕

○藤岡唯奈議員 タイピングの授業に関して。朝霞第四中学校、藤岡唯奈。

令和3年度より朝霞市の小中学校では、iPadが導入されました。現在、徐々に授業
内での使用回数も増えてきていますが、配付されたiPadのカバーにはキーボードが付
いているのにも関わらず、タイピングやブラインドタッチのできる生徒はごく少数です。
事前に行った、四中の3学年を対象としたアンケートでも、「タイピングもブラインドタ
ッチもできる。」と答えた生徒は、153人中11人でした。非常にもったいないと私は
思います。さらに、私たちが大人になった際には、今よりもずっとICT機器の使用能力
の問われる社会になっていることが予測できます。そうなったときに、小中学校のときか
ら練習するのと、社会に出てから練習するのとでは、時間的にも脳の学習能力的にも、学
生のうちに練習した方が良いのではないのでしょうか。

また、I C T機器を十分に扱える人材の育成というのは、近年最も重視されているものの一つです。朝霞市から、これからの社会を担う優れた人材を輩出するためにも、小中学生向けタイピング教室の実施が有効であると思われます。

このタイピング教室とは、市民センター等の一室を借り、外部講師を招いてタイピングについて教えてもらうというものです。これならば、授業の時間等を削ることなく、小中学生のタイピングやI C T機器を扱う能力を効果的に高めることができるのではないのでしょうか。

これらの観点から、放課後タイピング教室の実施を求めます。

○加藤裕貴副議長 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。教育長。

○二見隆久教育長 タイピングの授業に関してということについて、お答えいたします。

i P a dを始めとするI C T機器は、自分の必要とする情報を調べたり、深めたりするためのツールでありまして、タイピング能力は、そのために必要な技能であると考えています。藤岡議員が事前に調査をされて、それに基づいて質問内容を作ったことは、その核心を突いたものであると思います。

タイピング能力に関しましては、もし仕事として使うのであれば、1分間に60字入力できるレベルが必要といわれております。現在の子供たちのタイピング能力はどうかというと、令和4年に民間企業が、全国の児童生徒約1万2,000人を対象に行った調査では、中学校3年生が1分間にタイプできる文字数の中央値は56文字でありました。平成27年度の調査と比べますと8倍の伸びが見られたということで、これは学校にi P a dを始めとするタブレット端末が入ってきた成果かなと思っています。

また、今年から学校においては、県の学力調査をいわゆるC B Tといって、コンピューターを使ったテストに変えました。その様子も見学しましたがけれども様々で、例えばタイピングを使ってやっている中学生もいっぱいいましたし、フリック入力をしてやる子たちもいっぱいいました。

市内の小中学校では、I C T機器の活用について年間の授業計画が作られています。今、小学校では、タイピングを練習することも計画に入れられています。タイピング教室を市で実施することは、これは有効だと思いますけれども、まずは、各学校でタイピング練習に取り組んでいただければと思います。そして、自分の考えや気持ち、これを伝えるときに、どのようにそういったI C T機器を活用できるか、あるいは、I C T機器を使って何ができるのかといったことを大切にして、学習を進めてほしいなと思っています。

○加藤裕貴副議長 以上で、朝霞第四中学校の藤岡唯奈議員の一般質問を終わります。

◇高橋 豊 議員

○加藤裕貴副議長 次は、26番、朝霞第五中学校の高橋豊議員です。登壇して、質問をお願いします。

〔高橋豊議員登壇〕

○高橋豊議員 朝霞第五中学校の毎年大量発生するカメムシ対策について。朝霞第五中学校、

高橋豊。

朝霞第五中学校周辺には、豊かな自然が広がっています。しかし、本校周辺では9月下旬頃から11月にかけて、大量のカメムシが発生します。昨年度までは、校舎の外壁に貼り付いた大量のカメムシが窓から校舎内に侵入したり、気付かないうちに服に付着したりして、それだけでもかなり気になるのですが、更に悪臭を放つという問題も発生していました。

また、外壁についたカメムシは、外に置いた荷物やかばんなどにもくっ付いてしまったり、外を歩くときにも踏まないように気を遣わなければなりません。

昨年度、本校では、その対策のために一部のベランダ側のドアに網戸を設置しましたが、カメムシは本校から発生しているわけではなく、五中周辺の自然豊かな場所から発生し、五中に集まってくるので、根本的な解決に至ることができていないのが現状です。

そこで、本校から二つの案を提案します。

一つ目の案は、各教室の窓に網戸を設置することです。

現在、本校では、ベランダ側のドアと廊下の窓に網戸が設置されていますが、教室の窓からもカメムシは侵入してきます。現在でも、新型コロナウイルス感染症予防のための換気をしており、窓を開けることで、今後もカメムシの侵入被害は続くと予想されています。

五中では、カメムシだけでなく、カナブンや蜂、その他の虫なども校舎内に入ってきます。それらの虫の対策にもなると思い、網戸の設置を提案します。

二つ目は、カメムシの発生をできる限り抑える対策をしてもらうことです。

具体的な案としては、市の方で定期的に新河岸川の整備をしてもらうことです。少し前の新河岸川の土手や堤防は雑草だらけで、虫たちにとっては絶好の環境ですが、私たちにとっては危険な場所にもなっています。私たちが草むしりをするのも難しいように思います。カメムシは、この環境から大量発生しているものと考えられます。

夏は、部活動などで外周することがあり、土手の近くを走ることもあります。夏は、雨が多く降り、暑いため、特に雑草が多くあるように感じます。この周辺に住んでいる住民の方も、きっとカメムシなどの大量の虫に苦勞しているはずですが、五中のためだけでなく、この周辺の住民の方々が安心して生活するためにも、新河岸川周辺の整備を進め、カメムシの発生を抑えていただきたいです。是非、検討をお願いします。

○**加藤裕貴副議長** 質問が終わりましたので、ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。教育長。

○**二見隆久教育長** 朝霞五中の毎年大量発生するカメムシ対策について、お答えをいたします。

高橋議員が、学校周辺の自然環境と安心した学校生活の両立についてアイデアを出していただいたことについては、大変感心をしました。

カメムシ対策のために各教室の窓に網戸を設置してほしいということでございますが、まずは、昨年度、令和4年度に教室からベランダへの出入口にある大きな窓に、そして今年は、夏休みに廊下の窓全てに網戸を設置いたしました。

今後は、これまで設置した網戸によるカメムシ等の対策の効果を確認しながら、教室の

窓などにも網戸を設置することについても、学校と相談しながら対応してまいりたいと思っています。

第五中学校の周辺にある自然環境は、これはほかの学校にはない特色でありまして、そこでしか体験できないこともいろいろあると思います。高橋議員が、第五中学校の特色を生かしながら、より良い学校環境になるように、これからも考えて行動していくことを期待しています。

教育委員会といたしましても、これからも皆さんが快適に安心して学校生活を送れるようにしたいと思っています。

なお、新河岸川周辺の整備ということですが、それによってカメムシの発生を抑えてほしいということについては、高橋議員ご提案のとおりで、定期的な除草を行うことは、カメムシを始めとする虫等の発生を抑えるために有効な手段だと思っております。

新河岸川の除草ですけれども、これは河川を管理している埼玉県の朝霞県土整備事務所において、定期的に行っているということでもあります。例年6月と10月の年2回、除草をしているそうです。

また、第五中学校の周りには、市が管理している水路とか農道もありますので、そこについても市の方で年に1回程度実施をしております。河川敷の生き物にも配慮しながら、除草の時期や回数については考えたいと思います。

第五中学校の生徒の皆さんや周辺の住民の方が安心して生活できるような環境づくりに協力していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

○加藤裕貴副議長 以上で、朝霞第五中学校の高橋豊議員の一般質問を終わります。

○加藤裕貴副議長 以上で、一般質問は全て終了しました。

この際、午後2時まで暫時休憩します。

なお、子ども議員は、全員協議会室にお集まりください。

(午後1時45分)

○藤原愛美議長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

(午後2時)

◎子ども“未来・夢”宣言

○藤原愛美議長 ここからの進行は、中学生の部の議長、朝霞第五中学校3年の藤原愛美が務めます。

それでは、ここで子ども議会の総意による、「子ども“未来・夢”宣言」を行います。

子ども議会を代表して、中学生の部の加藤裕貴副議長、小学生の部の滝瀬佳音議長、同じく、小学生の部の西谷実結奈副議長にお願いします。登壇してください。

〔加藤裕貴副議長・滝瀬佳音議長・西谷実結奈副議長登壇〕

- 加藤裕貴副議長** わたしたちの住む「未来の朝霞市」は、すべての市民が夢や希望を持ち、明るく健やかに安心して暮らすことのできる、「私が 暮らしつづけたいまち 朝霞」であってほしいと願います。そして、「未来の朝霞市」を築いていく主人公は、わたしたち一人一人です。そのために、わたしたちは次の三つのまちづくりを目指して、これから取り組んでいきます。
- 滝瀬佳音議長** 一つめは、「自然と共に歩む、安心・安全なまちづくり」です。
朝霞の豊かな自然を生かし、リサイクルやボランティアなどに力を入れることで環境を守り、自然災害や交通事故などへの意識を高めることで、安心・安全なまちを目指していきます。
- 西谷実結奈副議長** 二つめは、「子どもから高齢者まで市民の誰もが住みやすいまちづくり」です。
学校や公共施設などを快適に使えるように工夫したり、みんなで助け合って小さい子ども安心して過ごせるようにしたりして、市民の誰もが住みやすいまちを目指していきます。
- 加藤裕貴副議長** 三つめは、「誰からも愛され、活気のあるまちづくり」です。
朝霞市の歴史や商店、市のキャラクター「ぼぼたん」などを広く伝え、市民の笑顔や音楽があふれるまちにし、市民が愛着をもち、活気のあるまちを目指していきます。
- 滝瀬佳音議長** わたしたちは、朝霞市民として、身近なところから一人一人が努力し、三つのまちづくりに取り組んでいきます。そのために、友達の気持ちを大切にして、力を合わせ、笑顔あふれる学校・社会をつくっていきます。
- 西谷実結奈副議長** わたしたちが住むふるさと「朝霞」が、安心・安全で誰もが住みやすいまちとして、これからも発展していくことを願って、
- 加藤裕貴副議長** ここに「子ども“未来・夢”宣言」を宣言します。
令和5年10月21日、「朝霞“未来・夢”子ども議会」中学生副議長、朝霞第一中学校、加藤裕貴。
- 滝瀬佳音議長** 小学生議長、朝霞第五小学校、滝瀬佳音。
- 西谷実結奈副議長** 小学生副議長、朝霞第六小学校、西谷実結奈。

◎閉会の宣告

- 藤原愛美議長** 本日の日程は、全て終了しました。子ども議員の皆さん、とても熱心に質問をしていただき、ありがとうございました。
富岡市長並びに二見教育長には、丁寧な答弁をいただき、ありがとうございました。
また、出席していただいた獅子倉市議会議長、福川副議長を始め、執行部の皆さん、ご協力ありがとうございました。
以上で、「朝霞“未来・夢”子ども議会」を閉会します。

(午後2時5分)

参 考 资 料

「子ども“未来・夢”宣言」

わたしたちの住む「未来の朝霞市」は、すべての市民が夢や希望を持ち、明るく健やかに安心して暮らすことのできる、「私が暮らしつつけたいまち 朝霞」であってほしいと願います。そして、「未来の朝霞市」を築いていく主人公は、わたしたち一人一人です。そのために、わたしたちは次の3つのまちづくりを目指して、これから取り組んでいきます。

1つめは、『自然と共に歩む、安心・安全なまちづくり』です。

朝霞の豊かな自然を生かし、リサイクルやボランティアなどに力を入れることで環境を守り、自然災害や交通事故などへの意識を高めることで、安心・安全なまちを目指していきます。

2つめは、『子どもから高齢者まで市民の誰もが住みやすいまちづくり』です。

学校や公共施設などを快適に使えるように工夫したり、みんなで助け合っって小さい子ども安心してすごせるようにしたりして、市民の誰もが住みやすいまちを目指していきます。

3つめは、『誰からも愛され、活気のあるまちづくり』です。

朝霞市の歴史や商店、市のキャラクター「ぼぼたん」などを広く伝え、市民の笑顔や音楽があふれるまちにし、市民が愛着をもち、活気のあるまちを目指していきます。

わたしたちは、朝霞市民として身近なところから、一人一人が努力し、3つのまちづくりに取り組んでいきます。そのために、友達の気持ちを大切に、力を合わせ、笑顔あふれる学校・社会をつくっていきます。

わたしたちが住むふるさと「朝霞」が、安心・安全で誰もが住みやすいまちとして、これからも発展していくことを願って、ここに「子ども“未来・夢”宣言」を宣言します。

令和5年10月21日

「朝霞“未来・夢”子ども議会」議員一同

「朝霞“未来・夢”子ども議会」

質問通告事項一覧表

令和5年10月21日

朝 霞 市

朝霞市教育委員会

件 名 及 び 要 旨

1 ヴォン・ハー・ガン 議員 【朝霞第一小学校6年】

- 1 工夫のあるごみ箱の設置でごみの無い町へ
 - (1) ポイ捨てのないきれいな町にできるようなごみ箱を設置してほしい

2 きくち のあ 菊池 希空 議員 【朝霞第一小学校6年】

- 1 「朝霞を知ろう 歴史スタンプラリー」の開催について
 - (1) 朝霞市をもっと知ってもらえるようなスタンプラリーを開催してほしい

3 ふじた かやの 藤田 茅乃 議員 【朝霞第二小学校6年】

- 1 ガードレールの設置について
 - (1) 通学路の危険な場所にガードレールを設置してほしい

4 すみだ こうが 住田 航雅 議員 【朝霞第二小学校6年】

- 1 リサイクルボックスの設置について
 - (1) 子どもにとって身近な場所にリサイクルボックスを設置してほしい

件 名 及 び 要 旨

件 名 及 び 要 旨

5 ^{あべ}阿部 ^{りりこ}莉々子 議員 【朝霞第三小学校6年】

- 1 市内循環バスわくわく号の利用者を増やすために
 - (1) 子どもが楽しめるスタンプラリーなどのイベントを実施してほしい
 - (2) 大きく見やすいバスルート案内や時刻表を作成してほしい

6 ^{やまざき}山崎 ^{あいか}愛夏 議員 【朝霞第三小学校6年】

- 1 続小学生でも使えるぽぽたんグッズの企画について
 - (1) 小学生でも手に入れやすいぽぽたんの文房具を増やしてほしい

7 ^{すとう}簾藤 ^{さえら}彩空 議員 【朝霞第四小学校6年】

- 1 小中学生が参加できるボランティアイベントの開催について
 - (1) 環境問題について学べるボランティア活動やイベントを夏休み中に実施してほしい

8 ^{たけだ}武田 ^{ゆいと}結心 議員 【朝霞第四小学校6年】

- 1 赤ちゃんの子育てを支援する施設について
 - (1) 小さな子どもを育てる親が少しの間でも子どもを預けられるように、店の中や近くに託児施設を作してほしい

件 名 及 び 要 旨

件 名 及 び 要 旨

9 ^{たかの}高野 ^{さえ}紗衣 議員 【朝霞第五小学校6年】

- 1 小水力発電を黒目川に設置し、足元灯に活用することについて
- (1) 黒目川に水力発電を使った足元灯を設置し、安心安全に通れるようにしてほしい

10 ^{わたなべ}渡邊 ふみ 議員 【朝霞第六小学校6年】

- 1 学校の廊下に鏡をつけることについて
- (1) 学校での衝突による怪我を減らすため、学校の階段にミラーをつけてほしい

11 ^{むらた}村田 ^{かのん}花乃音 議員 【朝霞第七小学校6年】

- 1 地震の被害をおさえるために
- (1) 防災対策の意識を高めるために、朝霞市の各家庭の防災対策を努力義務化してほしい

12 ^{ますだ}増田 ^{かずと}和翔 議員 【朝霞第七小学校6年】

- 1 プールの授業について
- (1) プールの授業をわくわくどーむや民間施設を利用して実施してほしい

件 名 及 び 要 旨

件 名 及 び 要 旨

1 3 保崎^{ほざき}海音^{かい} 議員 【朝霞第八小学校6年】

1 朝霞市に音楽を

- (1) 音楽を通してみんなが笑顔になれるように、駅前などにストリートピアノや楽器を設置してほしい

1 4 山岸^{やまぎし}千真^{かずま} 議員 【朝霞第八小学校6年】

1 朝霞の周遊バスを使うことについて

- (1) 暮らしやすく安全にするために、保育園や老人ホームなどの近くを中心に停車する周遊バスを設置してほしい

1 5 井上^{いのうえ}栞汰^{かんた} 議員 【朝霞第九小学校6年】

1 i P a dをさらに活用できるように、I C Tの環境を整えることについて

- (1) A p p l e T Vとプリンターを設置してほしい
(2) すべての i P a dにスタイラスペンを用意してほしい
(3) パソコン室にm a cのパソコンを設置してほしい

1 6 小磯^{こいそ}瑞己^{みずき} 議員 【朝霞第九小学校6年】

1 給食費の無償化について

- (1) これからの日本の社会を支えていく私たちの身体を作る給食の費用を無償化してほしい

件 名 及 び 要 旨

件 名 及 び 要 旨

17 ^{はらだ りお} 原田 理央 議員 【朝霞第十小学校6年】

1 ぽぽたんと共に交通事故ゼロへ

(1) 危険箇所や交通事故が多い場所に、ぽぽたんのイラストの交通標識を立ててほしい

(2) ぽぽたんの反射板を作成し、市内の小学生に配付してほしい

18 ^{とがわ} 戸川 このみ 議員 【朝霞第十小学校6年】

1 朝霞をもっと好きになろう

(1) 朝霞市の魅力を広げるために、町商店スタンプラリーを実施してほしい

19 ^{いしかめ ここみ} 石亀 心美 議員 【朝霞第一中学校3年】

1 税務署付近の街路樹の整備について

(1) 朝霞税務署付近の街路樹の整備やごみ拾いのために、ボランティアを通して美化活動を行いたい

20 ^{さいとう ゆい} 齊藤 優衣 議員 【朝霞第二中学校2年】

1 少子化に対する対策について

(1) 朝霞市の少子高齢化対策について教えてほしい

件 名 及 び 要 旨

件 名 及 び 要 旨

2 1 おかだ ねね 岡田 寧音 議員 【朝霞第二中学校 2年】

- 1 土地・建物の利用状況について
- (1) 朝霞市の空き地の活用について教えてほしい

2 2 きたがわ そうた 北川 颯太 議員 【朝霞第三中学校 3年】

- 1 商業施設の開業について
- (1) 市内に新たな商業施設を建設してほしい

2 3 しんどう りの 新藤 璃乃 議員 【朝霞第三中学校 3年】

- 1 自転車横断帯や自転車専用レーンの設置について
- (1) 自転車との接触事故を防ぐため、自転車横断帯と自転車専用の走行レーンを設置してほしい

2 4 みしま ゆうな 三嶋 優奈 議員 【朝霞第四中学校 3年】

- 1 路上喫煙について
- (1) 受動喫煙や火事、健康への被害を防ぐため、路上喫煙禁止地区を拡大し、時間帯は登下校時間に設定してほしい

件 名 及 び 要 旨

件 名 及 び 要 旨

25 ^{ふじおか}藤岡 ^{ゆいな}唯奈 議員 【朝霞第四中学校3年】

1 タイピングの授業に関して

(1) 優れた人材育成のため、小中学生向けタイピング教室を実施してほしい

26 ^{たかはし}高橋 ^{ゆたか}豊 議員 【朝霞第五中学校3年】

1 朝霞五中の毎年大量発生するカメムシ対策について

(1) 各教室の窓に網戸を設置してほしい

(2) 新河岸川周辺の整備を進め、カメムシの発生を抑えてほしい

27 ^{たきせ}滝瀬 ^{かの}佳音 議員 【朝霞第五小学校6年】

小学生議長

28 ^{にしたに}西谷 ^{みゆな}実結奈 議員 【朝霞第六小学校6年】

小学生副議長

29 ^{ふじわら}藤原 ^{まなみ}愛美 議員 【朝霞第五中学校3年】

中学生議長

30 ^{かとう}加藤 ^{ゆうき}裕貴 議員 【朝霞第一中学校3年】

中学生副議長

件 名 及 び 要 旨

令和5年度
朝霞“未来・夢”子ども議会
会 議 録

令和6年1月発行

朝霞市 市長公室 市政情報課
〒351-8501
朝霞市本町1丁目1番1号
電話 048-463-3163